

【第1回】 (仮称)下井草まちづくりラボ 次第

日時：令和6年7月20日(土)

午前9時～11時

会場：区立桃井第五小学校

体育館

- 1 開 会
- 2 下井草駅周辺まちづくりのこれまでとこれからの取組みについて (30分)
- 3 まちあるきの事前準備 (グループワーク) (60分)
- 4 グループワークの結果共有 (20分)
- 5 次回まちあるきのご案内 (5分)
- 6 関先生の講評
- 7 閉会

第1回（仮称）下井草駅まちづくりラボ

下井草駅周辺まちづくりの 「これまで」と「これから」

令和6年7月20日（土）

杉並区市街地整備課鉄道立体係



本日の流れ

1 開会

2 (仮称) 下井草まちづくりラボの趣旨

3 下井草駅周辺まちづくりのこれまでの取組みについて

4 下井草駅周辺まちづくりのこれからの取組みについて

5 まちあるきの事前準備 (グループワーク)

6 次回スケジュール

7 閉会

1

開 会



従事者紹介

杉並区市街地整備課

鉄道立体担当課長 塚田 千賀子

鉄道立体係長 朝比奈 崇

主査 近藤 隆幸

主任 井家 睦

主事 菅原 靖広

主事 瀧澤 和樹

主事 田村 颯大

アドバイザー

日本大学教授 関 文夫

日本大学学生（関研究室）

ファシリテーター

(株)GEN プランニング

奥村 玄

アドバイザー

日本大学理工学部土木工学科 教授



土木設計家
土木技術者（技術士・工学博士）

関 文 夫 先生

<経歴>

- 1985年4月 大成建設株式会社入社：橋梁を中心に設計と現場を往来した後、環境に配慮した土木デザインを展開する
- 2011年3月 大成建設株式会社退職
- 2011年4月 日本大学理工学部土木工学科教授：現在に至る

<専門>

- ・土木デザイン 橋、トンネル、高速道路、河川、街路、公園、駅前広場、スポーツ施設などの設計
- ・構造システム 構造解析、構造システム、耐震設計、維持管理
- ・土木史 土木技術史、土木設計史。江戸土木史
- ・まちづくり まちづくり、活性化、限界集落 ppp、水力発電
- ・森づくり 生物多様性、カーボンFIX, 環境教育
- ・災害救助 救助訓練施設設計、訓練プログラム、災害教育

ファシリテーター 株式会社 GEN プランニング 代表

奥村玄さん



技術士 一級建築士
登録ランドスケープアーキテクト
地域力創造アドバイザー（総務省）

<経歴>

- ◆2007年～2010年和歌山県高野町地域再生マネージャー派遣
- ◆2014年～現在小田急線（東北沢～下北沢～世田谷代田）上部および周辺のまちづくり
- ◆2015年鎌倉市津波避難実施計画策定市民会議企画運営
- ◆2016年～2022年草加松原児童センター基本構想・運営計画企画支援（早稲田大学卯月研究室）

<専門>

- ・市民参加多様な分野における市民参加のコーディネートワークショップ企画運営
- ・地域計画地域再生中心市街地活性化地域福祉計画地域交通計画
- ・建築計画公共施設計画古民家再生計画
- ・都市デザインプロムナード計画設計景観計画
- ・ランドスケープ計画公園計画設計河川環境計画
- ・防災計画震災・水害等復興計画津波避難計画

2

(仮称) 下井草まちづくりラボの趣旨



(仮称) 下井草まちづくりラボの趣旨

(仮称) 下井草まちづくりラボは、幅広い世代の方々とまちあるきや勉強会、意見交換等を行い、下井草駅周辺のまちの将来像について研究していく会になります。

鉄道の連続立体交差事業により、今後変化していくまちに向けて、参加者の一人一人の意見が自分たちの生活するまちをよりよくする大切なヒントになりますので、主体的な参加をお願いいたします。

3

下井草駅周辺まちづくりにおける これまでの取組について



令和5年度

下井草駅周辺まちづくりワークショップ

道路・交通面の課題解決を中心に、地域の方々と活発な意見交換を行い、道路・交通施設整備計画の策定を目指しました。

ワークショップで行った内容について、さらに多くの方から意見を聴くためにオープンハウスを開催しました。ワークショップの内容をパネル展示し、区職員が来場者に直接説明して意見を聴きました。



令和5年度ワークショップ及びオープンハウスの開催状況

第1回まちづくりワークショップ 令和4年12月 **下井草駅周辺まちづくりの経過と現状**

第2回まちづくりワークショップ 令和5年5月 **まち及び下井草駅周辺の将来イメージ**

第3回まちづくりワークショップ 令和5年6月 **駅周辺の将来イメージを考える**

第3回まちづくりオープンハウス 令和5年6月 第1～3回ワークショップの内容

第4回まちづくりワークショップ 令和5年7月 **将来の交通のありかた（案）の検討**

第4回まちづくりオープンハウス 令和5年8月 第4回ワークショップの内容

第5回まちづくりワークショップ 令和5年9月 **道路・交通施設整備計画（たたき台）の確認**

第5回まちづくりオープンハウス 令和5年10月 第5回ワークショップの内容

第6回まちづくりワークショップ 令和6年1月 **道路・交通施設整備計画（たたき台 No.2）の確認**

第6回まちづくりオープンハウス 令和6年3月 第6回ワークショップの内容

令和5年度 下井草駅周辺まちづくりワークショップ

駅周辺の道路・交通課題を整理し、
目指すべき下井草駅周辺の道路・交通の整備目標（たたき台 No.2）を作成しました。

整備目標（たたき台 No.2）

1. コンパクトな交通結節点機能の強化
2. 歩行者の安全性確保
3. みどり豊かなにぎわい空間の創出
（集い溜まれる・みどり豊かな場所）

駅周辺の基本的な考え方

- ・交通機能の集約化
- ・安全な歩行空間の確保
- ・人が集い溜まれる空間の確保
- ・人中心の魅力あるにぎわい空間の創出
- ・買収面積の最小化
- ・みどりの創出

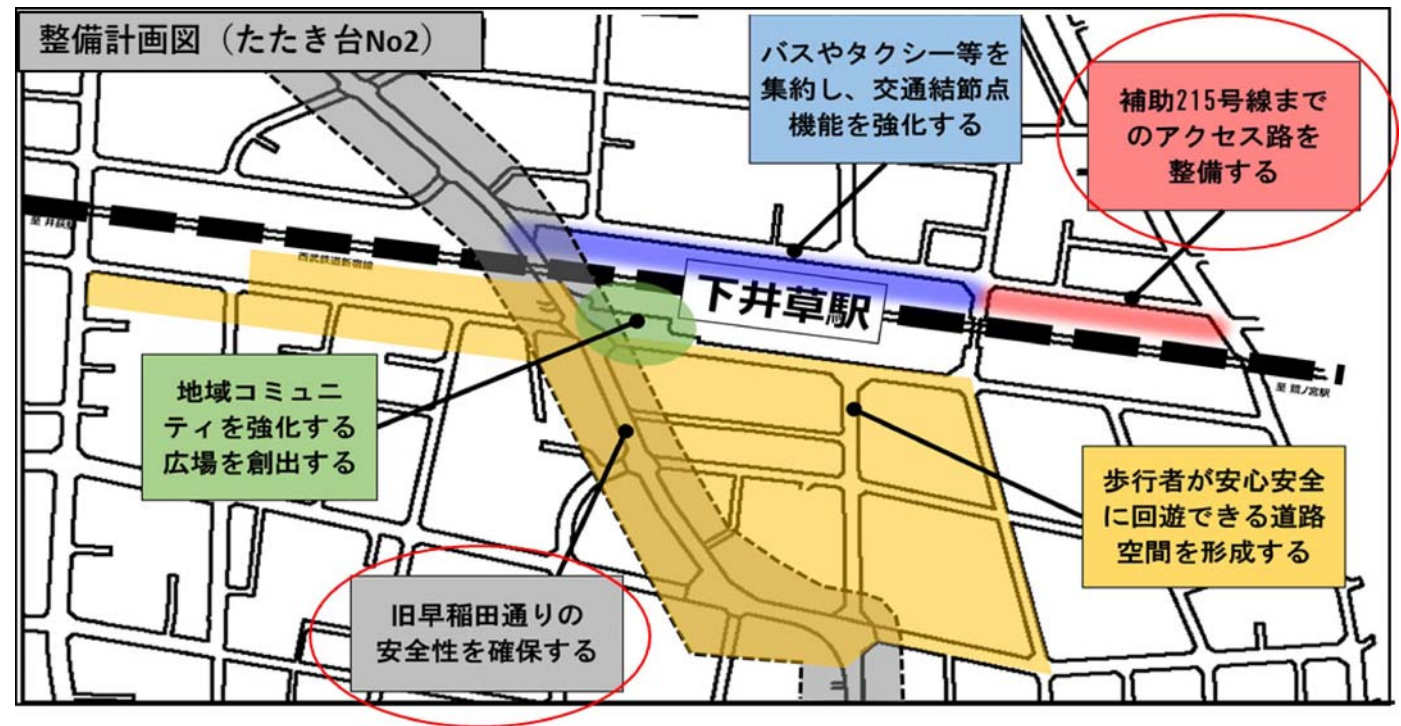
課題

- ・タクシーに乗れない
- ・バス停が駅から離れている
- ・車と歩行者が錯綜している
- ・休憩スペースがない



令和5年度 下井草駅周辺まちづくりワークショップ

整備目標（たたき台 No.2）
をもとに、目指すべき下井草駅周辺の道路・交通の整備計画図（たたき台 No.2）を作成しました。



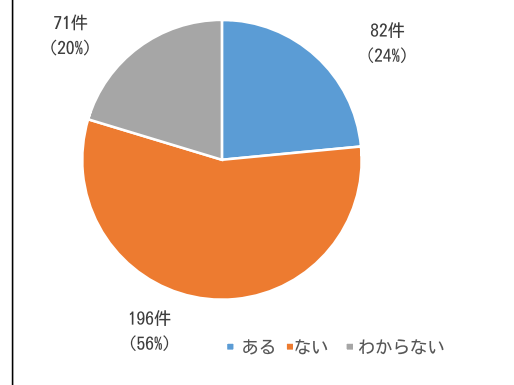
小・中学生を対象にアンケート調査を行いました (令和6年2月)

昨年度は、下井草駅周辺の小・中学校に通う小学校4年生以上を対象に下井草まちづくりについてアンケート調査を行いました。

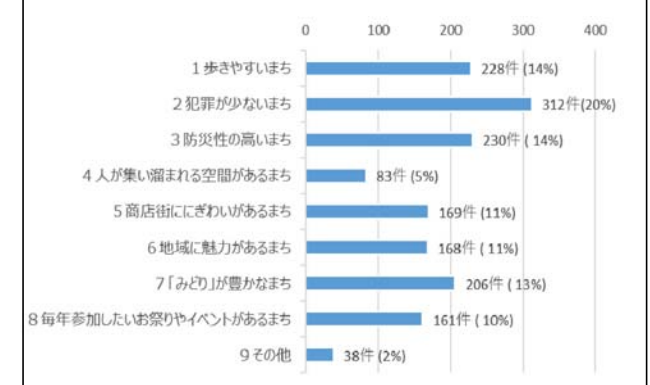
対象者：小学生・中学生
回答総数：349件



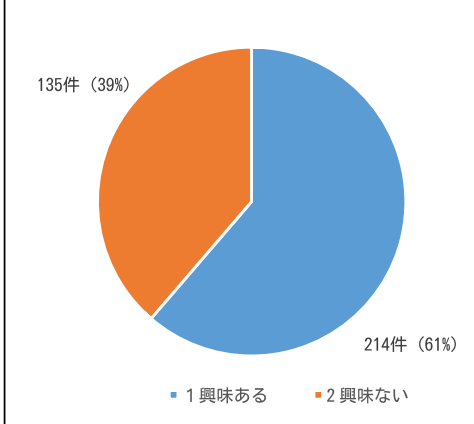
Q4 通学路で危険だと感じる場所はありますか



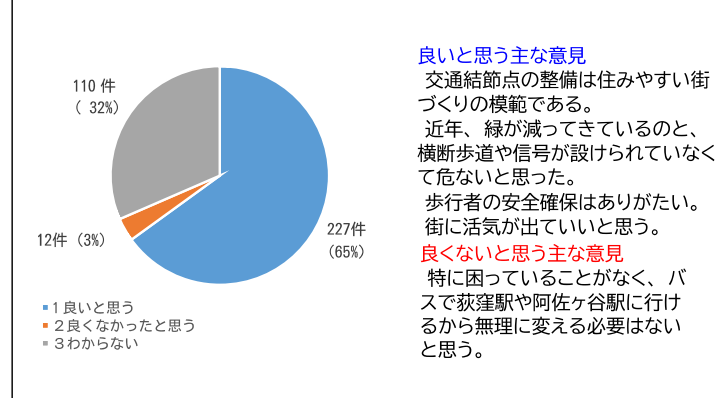
Q13 どのようなまちに住みたいですか



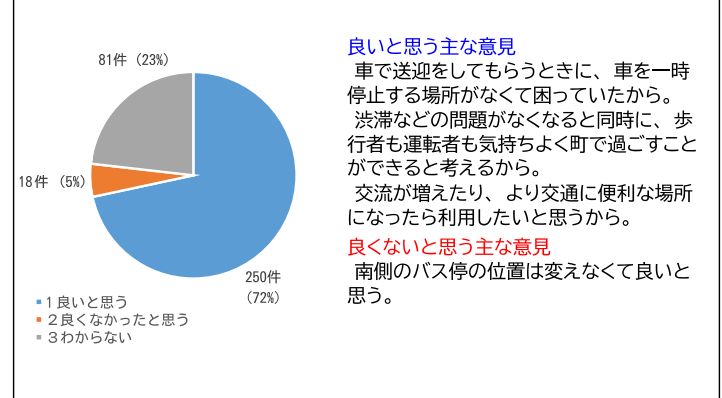
Q15 まちづくりに興味ありますか



Q21 「下井草駅周辺道路・交通施設整備計画（たたき台）」にある「整備目標【3つの柱】」の内容についてあなたが感じたことを教えてください



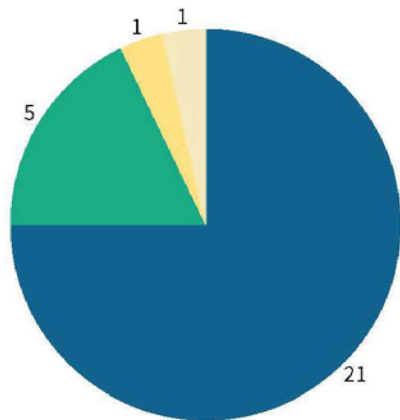
Q23 「下井草駅周辺道路・交通施設整備計画（たたき台）」にある「整備計画図」の内容について、あなたが感じたことを教えてください



令和5年度 下井草駅周辺まちづくりオープンハウス でアンケート調査を行いました（令和6年3月）

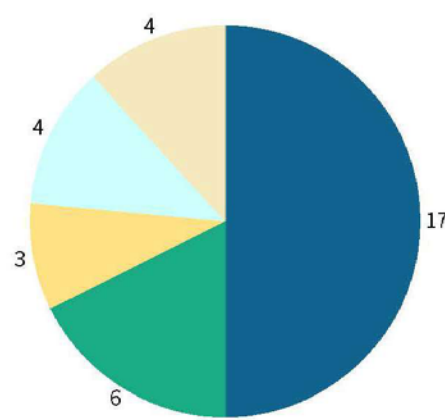
シールアンケート結果

整備目標について



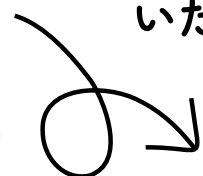
■ 良いと思う ■ やや良いと思う
■ どちらでもない ■ 良いと思わない

整備計画図について



■ 良いと思う ■ やや良いと思う
■ どちらでもない ■ あまり良いと思わない
■ 良いと思わない

下井草駅周辺まちづくりオープンハウスでは、駅利用者や駅周辺にお住まいの方を対象に整備目標・整備計画図の内容の是非についてアンケート調査を行いました。その結果、半数以上の方から前向きな意見をいただきました。



しかしながら・・・

鉄道の構造形式が高架・地下どちらの場合も想定してたたき台を作成してほしい。
もっとまち歩きをして現状を把握した上で、計画策定してほしい等の意見も伺いました。

下井草駅周辺まちづくりワークショップから (仮称) 下井草まちづくりラボへの軌道修正

今年度は、昨年度いただいた意見や区議会での議論を考慮し、軌道修正したうえでまちづくりを進めていきます

鉄道の構造形式が高架・地下どちらの場合も想定して
たたき台を作成したい

→高架化・地下化に限定するのではなく、高架になった場合、地下になった場合にそれぞれどんなまちにしたいか、まちの将来像を検討し、共有していきます。

下井草駅周辺まちづくりワークショップから (仮称) 下井草まちづくりラボへの軌道修正

まちあるきをして現状を把握した上で、計画策定
してほしい

→今年度は、グループディスカッションのほかに、
まちあるきや勉強会の実施を予定しています。

下井草駅周辺まちづくりワークショップから (仮称) 下井草まちづくりラボへの軌道修正

ワークショップに参加した少人数の意見だけで計画図を決めるのはいかななものか (区議会が出た意見)

→まちづくりラボでは、昨年度よりも対象とする範囲を拡大しており、広報すぎなみ・区公式ホームページでの参加募集により、区全域から下井草駅周辺に関心がある方に参加していただいております。また、将来を担っていく小学生にも参加いただいております。

4

下井草駅周辺まちづくりの
これからの取組みについて



今年度は、昨年度よりも幅広い世代の方々と、より具体的に下井草駅周辺のまちの将来像を研究する会として（仮称）下井草まちづくりラボを開催します。



(仮称)

下井草まちづくりラボとは・・・



具体的にどんなことをする会なの？

これまでは、道路・交通施設整備計画の策定に向けて、グループディスカッションを中心に、参加者のみなさまと議論を進めてきました。

(仮称) 下井草まちづくりラボでは、グループディスカッションに加えて、まちあるきや勉強会を開催し、自分たちのまちについて理解を深めながら、もう少し具体的に下井草駅周辺のまちの将来像を研究していく会になります。また、昨年度いただいた意見を考慮して、会の運営をしていきます。

(仮称) 下井草まちづくりラボの目的

鉄道の連続立体交差事業を見据え、鉄道が高架になった場合、地下になった場合のそれぞれのまちの将来像について、幅広い世代の方々と意見交換を行い、下井草駅周辺のまちづくりの方向性を共有することを目的とします。

ここで
連続立体交差事業
とは何か・・・



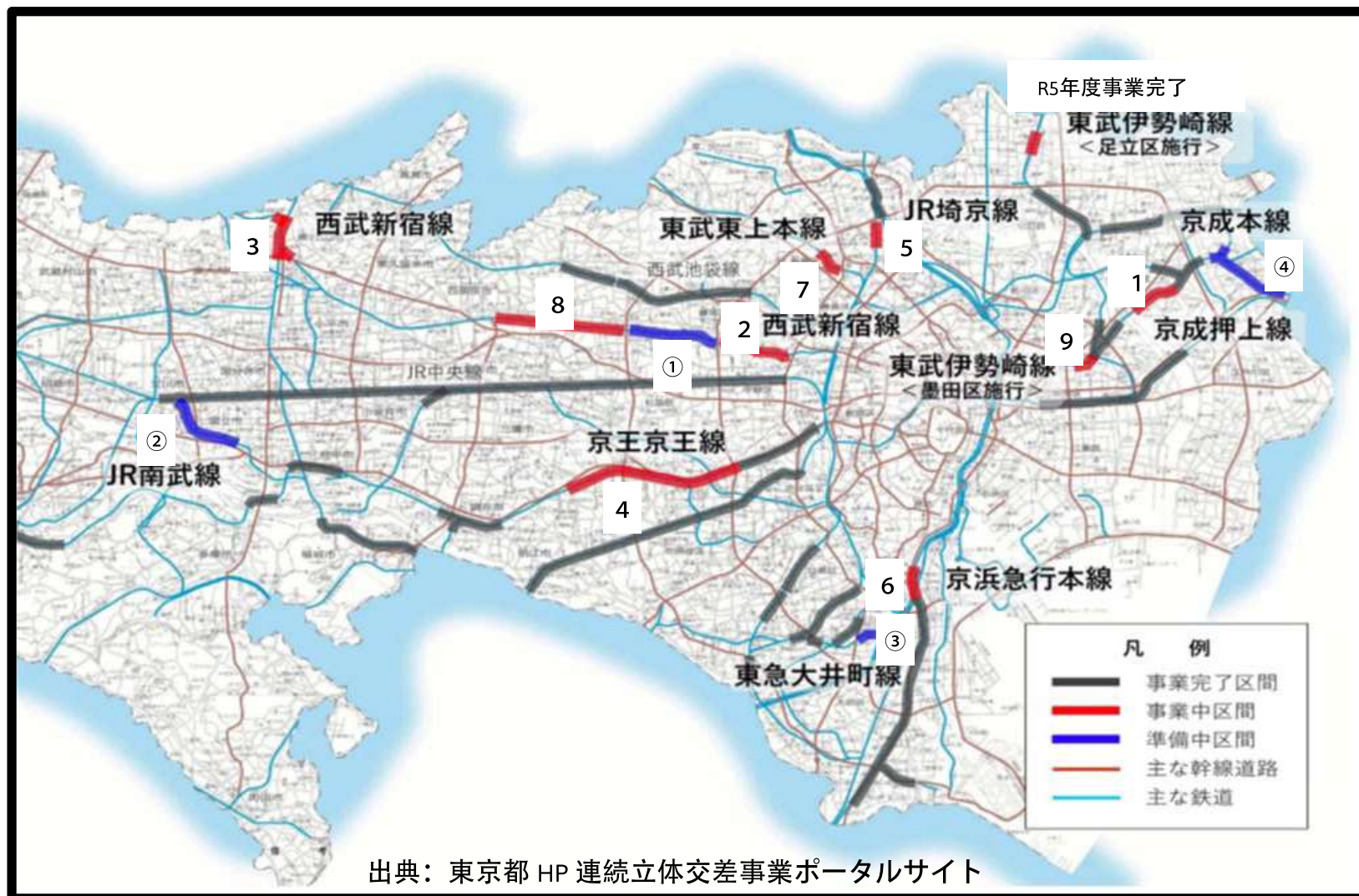
連続立体交差事業とは何か・・・

連続立体交差事業とは、鉄道を連続的に高架化または地下化することにより、道路と鉄道を連続立体交差化する事業です。

<主な事業効果>

- (1) 踏切遮断による交通渋滞及び踏切事故の解消
- (2) 市街地の分断を解消することによる、まちづくりの活性化
- (3) 新たに生み出される空間を駐輪場や公園など多目的な形で利用

連続立体交差事業の事例



連続立体交差事業の事例 事業中・準備中箇所

	番号	路線名	箇所	事業延長	都市計画決定 (都市計画変更)	施工年度	構造形成	踏切 除却数	施工者
事業中	1	京成押上線	四ツ木～青砥	2.2km	H13.1.15	H14～R12	高架	11	都
	2	西武新宿線	中井～野方	2.4km	(H23.8.19)	H25～R8	地下	7	都
	3	西武新宿線・国分寺線・ 西武園線	東村山駅付近	4.5km	H24.10.2	H25～R12	高架	5	都
	4	京王京王線	笹塚～仙川	7.2km	(H24.10.2)	H25～R12	高架・掘割	25	都
	5	JR埼京線	十条駅付近	1.5km	H29.11.30	R1～R12	高架	6	都
	6	京浜急行本線	泉岳寺～新馬場	1.7km	H30.12.21	R2～R11	地下・地表 高架	3	都
	7	東武東上線	大山駅付近	1.6km	R1.12.20	R3～R12	高架	8	都
	8	西武新宿線	井荻～西武柳沢	5.1km	R3.11.26	R5～R21	高架	19	都
	9	東武伊勢崎線	とうきょうスカイツリー 駅付近	0.9km	R3.11.26	R5～R21	高架	1	墨田 区
準備中	①	西武新宿線	野方～井荻	3.1km				13	
	②	JR南武線	谷保～立川	3.7km				17	
	③	東急大井町線	戸越公園駅付近	0.9km	R5.10.10		高架	6	
	④	京成本線等	京成高砂～江戸川	5.3km				13	

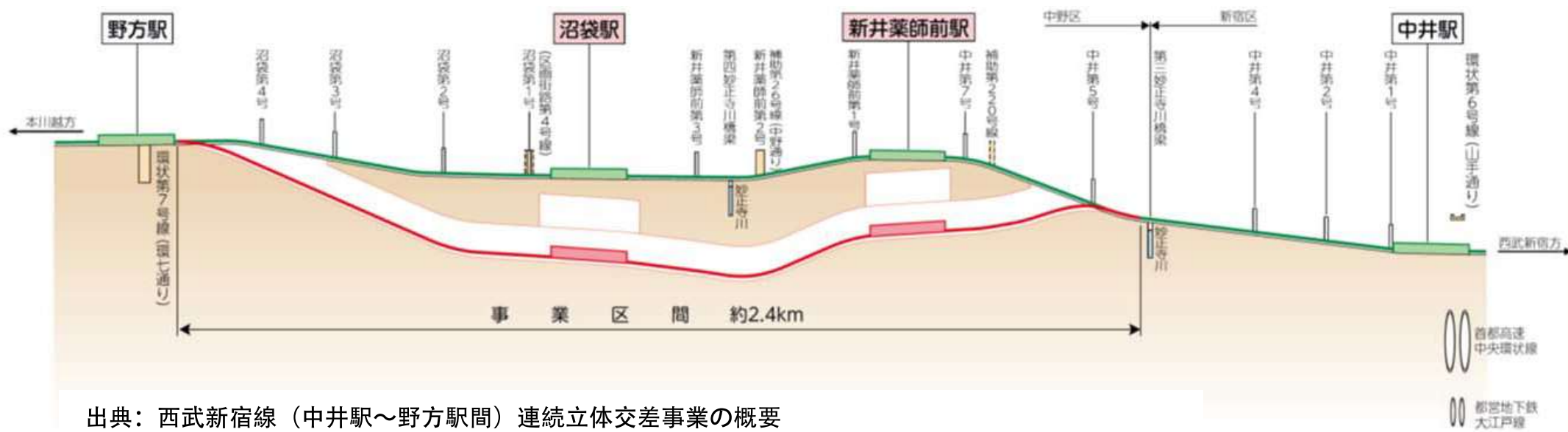
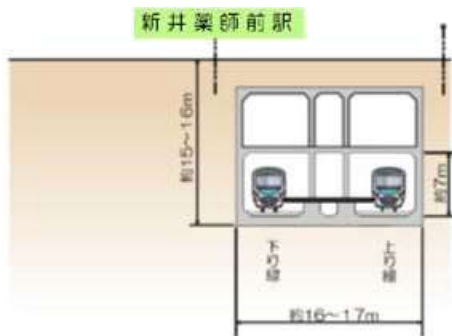
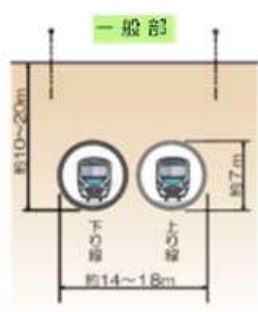
出典：○東京都HP 連続立体交差事業ポータルサイト○墨田区 HP 東武鉄道伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近）連続立体交差事業

連続立体交差事業（西武新宿線）事業箇所



連続立体交差事業の事例 2 西武新宿線（中井駅～野方駅）

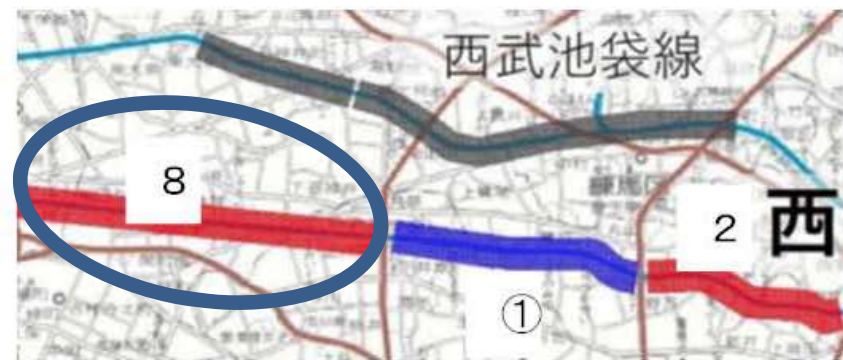
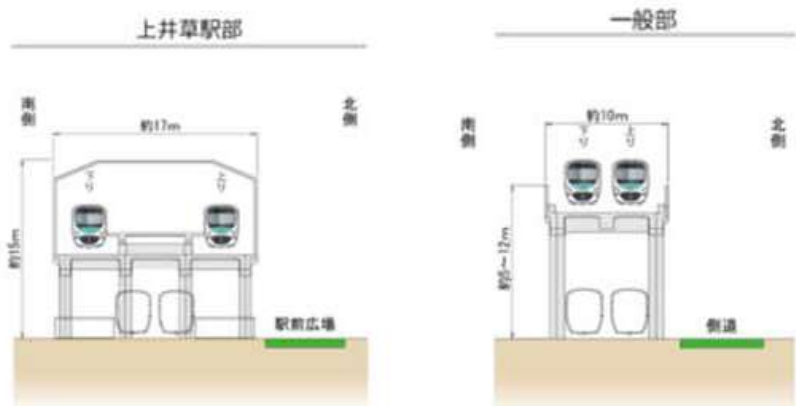
路線名	箇所	事業延長	都市計画決定 (都市計画変更)	施工年度	構造形成	踏切番 除却数	施工者
2 西武新宿線	中井～野方	2.4km	(H23.8.19)	H25～R8	地下	7	都



出典：西武新宿線（中井駅～野方駅間）連続立体交差事業の概要

連続立体交差事業の事例 8 西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅）

番号	路線名	箇所	事業延長	都市計画決定 (都市計画変更)	施工年度	構造形成	踏切除却数	施工者
8	西武新宿線	井荻～西武柳沢	5.1km	R3.11.26	R5～R21	高架	19	都



出典：西武新宿線（井荻駅～西武柳沢駅間）連続立体交差事業について

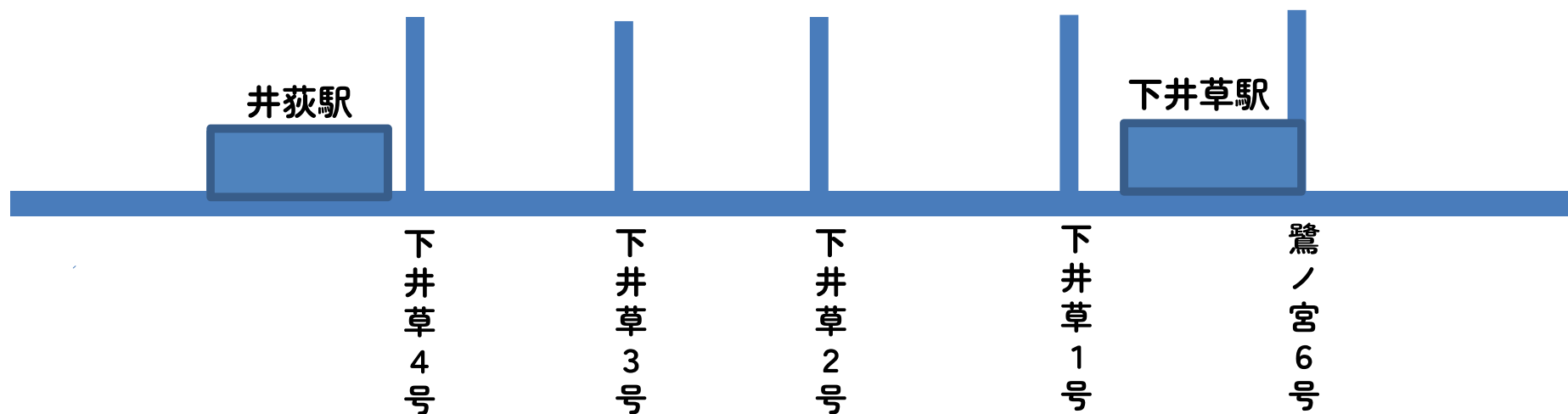
連続立体交差事業の事例 ① 西武新宿線（野方駅～井荻駅）

番号	路線名	箇所	事業延長	都市計画決定 (都市計画変更)	施工年度	構造形成	踏切除却数	施工者
①	西武新宿線	野方～井荻	3.1 km				13	

高架化・地下化などの構造形式の検討は、東京都で実施中



杉並区内の駅と踏切の概略



下井草駅周辺まちづくりのこれからの取組

下井草駅を含む西武新宿線（野方駅～井荻駅間）の連続立体交差事業については、東京都が高架化や地下化の構造形式を含め、検討中です。



今年度は、鉄道の連続立体交差事業を見据え、下井草駅を含む西武新宿線が立体化した際にどんなまちにしたいか、駅周辺のまちの将来像について皆さんと議論を深めていきます。

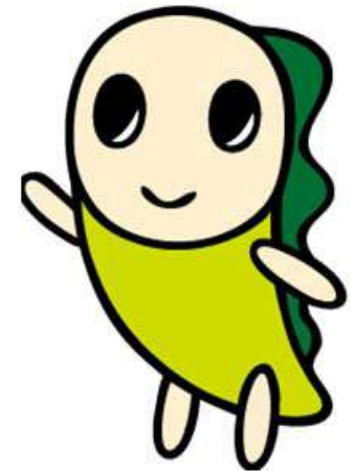
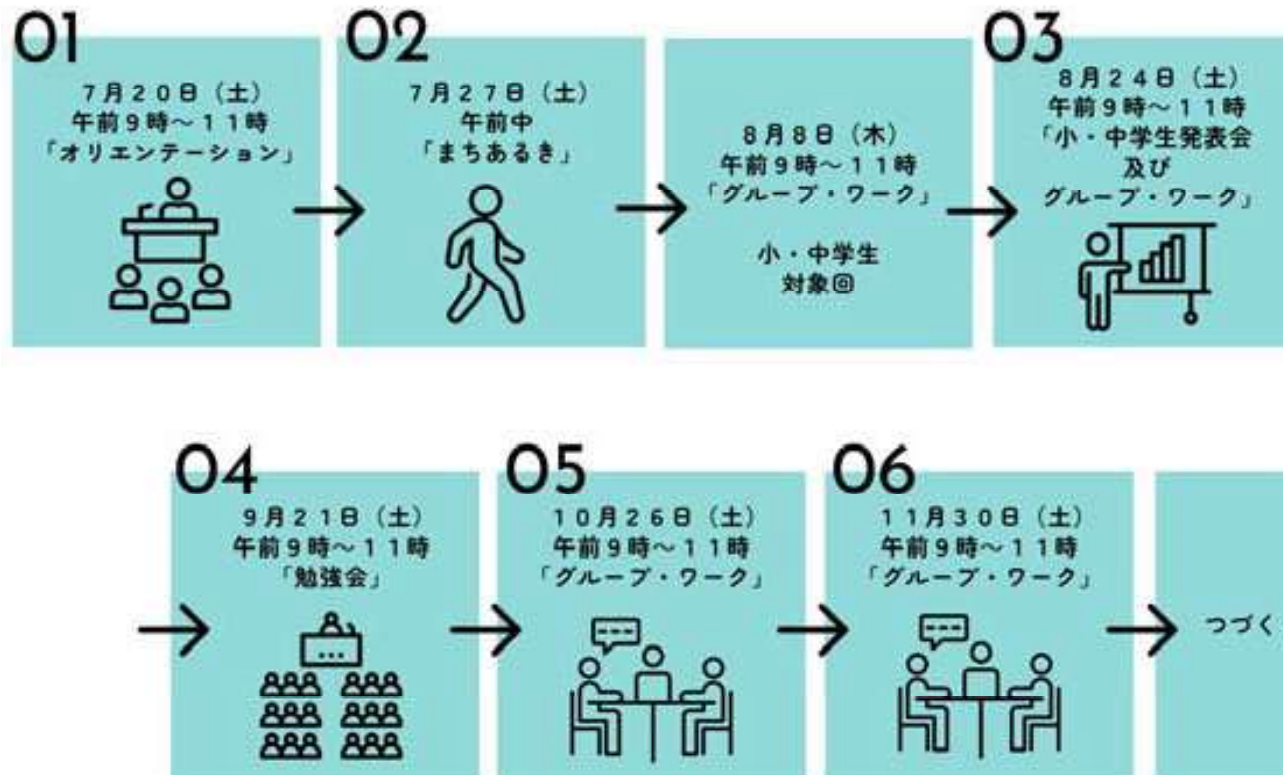
会の名称について

区では、参加者と一緒に下井草のまちの将来像について研究していく会として、名前を仮に「下井草まちづくりラボ」としました。

今後、会の名称については、参加されたみなさんで、改めて検討し、ご提案いただきたいと思います。

たとえば、
下井草ギルド、下井草まちなみプロジェクト、下井草ファミリー会議、みんなのしもいぐさ会議、下井草の社交場、こんにちは！しもいぐさ会議、未来をつなぐ下井草会 etc.

(仮称) 下井草まちづくりラボのスケジュール



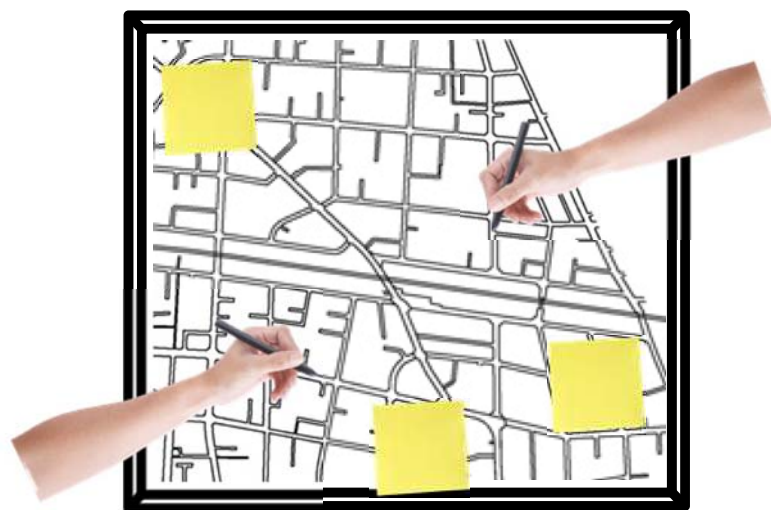
夏休みまちづくりプロジェクト

夏休みまちづくりプロジェクトは、夏休み期間に小学生を対象としたまちづくりを考える会になります。

夏休みまちづくりプロジェクトで検討した結果を（仮称）下井草まちづくりラボの参加者に発表します。

夏休みまちづくりプロジェクトの目的

自分たちが住むまちに意識を向け、楽しく学びながら、大人になったときにどんなまちに住みたいかなど、まちの将来像を考え、模型を作ります。



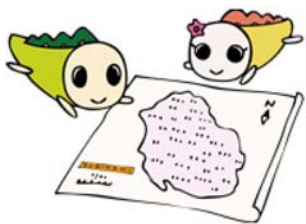
夏休みまちづくりプロジェクトの活動スケジュール

第1回

夏休みまちづくりプロジェクト

開催日：7月20日（土）

内容：オリエンテーション
まち歩きのコース決め

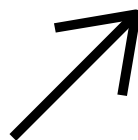


第2回

夏休みまちづくりプロジェクト

開催日：7月27日（土）

内容：まちあるき



第3回

夏休みまちづくりプロジェクト

開催日：8月8日（木）

内容：まちあるき成果
将来のまちの姿の模型作成（発表準備）



第4回

夏休みまちづくりプロジェクト

開催日：8月24日（土）

内容：（仮称）下井草まちづくりラボ
参加者に向けた発表

夏休みまちづくりプロジェクトの活動スケジュール

第1回 (仮称) 下井草まちづくりラボ	7月20日(土)	第1回夏休みまちづくりプロジェクト
第2回 (仮称) 下井草まちづくりラボ	7月27日(土)	第2回夏休みまちづくりプロジェクト
	8月8日(木)	第3回夏休みまちづくりプロジェクト
第3回 (仮称) 下井草まちづくりラボ	8月24日(土)	第4回夏休みまちづくりプロジェクト
第4回 (仮称) 下井草まちづくりラボ	9月21日(土)	 <p>夏休みまちづくりプロジェクトは全4回までですが、(仮称)下井草まちづくりラボは9月以降も行います。ぜひ、大人たちに混ざって下井草のまちの将来像について考えませんか。</p>
第5回 (仮称) 下井草まちづくりラボ	10月26日(土)	
第5回 (仮称) 下井草まちづくりラボ	11月30日(土)	

(仮称) 下井草まちづくりラボでまちづくりを 考えていくうえでの前提

当会では、皆様と円滑に話し合いをしていくうえで、事前に考慮していただきたい前提がございます。

この会は、鉄道の連続立体交差事業の構造形式（高架化・地下化）の優劣を決めたり、東京都へ要望する会ではありません。連続立体交差事業の構造形式が決まった際に、円滑にまちづくりを進めるために、鉄道が高架になった場合、地下になった場合のまちの将来像をそれぞれ考え、まちづくりの方向性を共有する会になります。

東京都は鉄道連続立体交差化、杉並区は駅周辺まちづくりなど役割分担しながらまちづくりを進めていますので、東京都と調整していかなければいけないことがあります。なお、当会で出た意見は、東京都へ情報共有いたします。

5

まちあるきの事前準備 (グループワーク)



本日は、次回のまちあるきに向けて、
事前準備のワークを行います。

第2回（仮称）下井草まちづくりラボ
「まちあるき」

開催日時 7月27日（土）

8時30分～11時

まちあるきの目的

下井草駅周辺のまちの将来像を考えていくにあたり、自分たちのまちの魅力や課題等について、実際にまちを歩き参加者間で共有していただくこととなります。

下井草をもっと魅力的なまちにしていくために、

- ① まちの好きなところ
- ② まちでよく利用するところ
- ③ まちの課題や改善していきたいところ
- ④ まちの思い出深いところ等

を、実際にまちを歩いて発見したり、知っていることをみんなで共有しましょう

本日のグループワークの説明

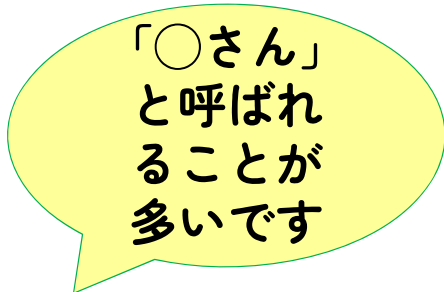
- ①自己紹介 【5分】
- ②まち歩きの「おすすめスポット」 【20分程度】
- ③グループの「おすすめスポット」を10か所くらい抽出する。【20分程度】
- ④各グループの成果からヒントをもらおう 【20分程度】
- ⑤「私のまちあるきマップ」の作成 【5分】

本日のグループワークの説明

①自己紹介

グループ内で自己紹介

- お名前
- お住まい（大体この辺り、町名で）
- 参加した動機を一言で
- 気楽に呼んでほしいお名前があればどうぞ



「〇さん」と呼ばれることが多いです

本日のグループワークの説明

②まち歩きの「おすすめスポット」を5、6か所書き出す

7月27日のまち歩きで、ぜひいってほしいおすすめスポットを付箋紙に書いてください。

○お気に入りの場所

- ・好きな場所
- ・景色がいい場所
- ・よく行く場所

おすすめの理由を簡単に書いてください

●気になっている場所

- ・問題とを感じる場所
- ・何とかしたい場所
- ・将来、どうなるのかなと不安な場所

本日のグループワークの説明

③ グループの「おすすめスポット」を10か所
くらい選んでください

1) 順番に各人の「おすすめスポット」を紹介

地図に、シールと付箋紙を貼ってください

「好きな場所」には青いシール●(マックス5か所)

「気になる場所」には赤いシール●(マックス5か所)

2) 全体を見回して、これは行ってもらいたいという場所を選ぶ

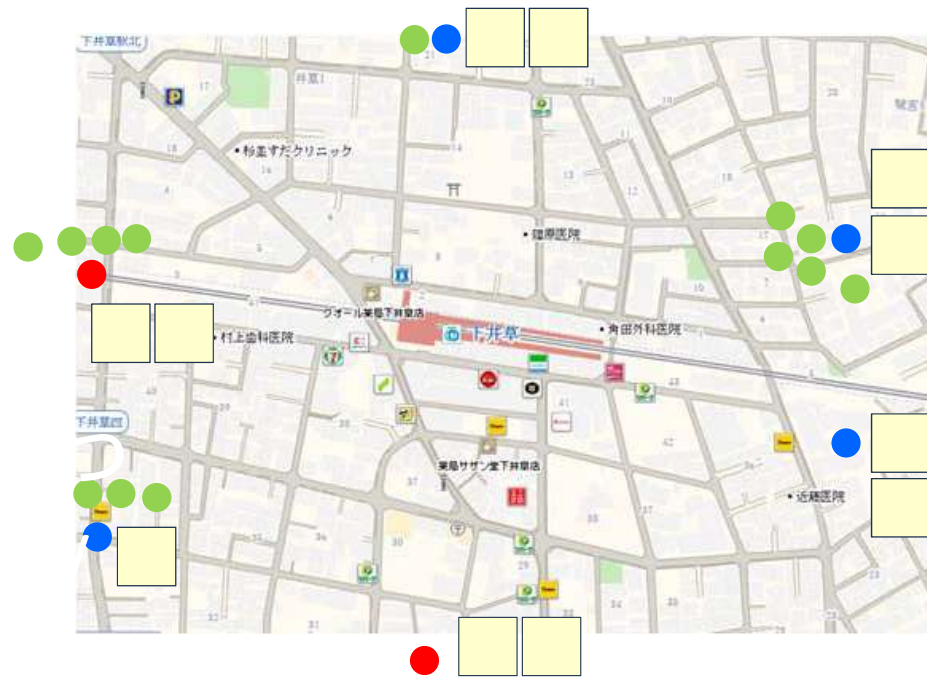
みんなで話し合って10か所くらい選んでください

こんな方法もあります・・・各人が緑のシール●(マックス5か所)を貼って多い順

本日のグループワークの説明

③ グループの「おすすめスポット」を
10か所くらい選んでください

作業イメージ



本日のグループワークの説明

④各グループの成果から ヒントをもらおう



○縁日の屋台を回る要領で・・・

- ・他の班のパネルを、皆さん自由に回ってください。
- ・まち歩きに訪ねてみたいスポットを手持ちの地図にメモしてください。

○自分の班のパネルを説明する担当を決めてください

- ・来訪者にアピールしたり、質問に答える人がいると理解が進みます。
- ・各グループで2人ずつペアを組みます。ペアは、名札の「①・②番」、「③・④番」、「⑤・⑥番」の方で組んで下さい。
- 5分ごとに説明するペアを交代します。まずは「①・②番」の方お願いします。

本日のグループワークの説明

⑤「私のまち歩きマップ」の作成

7月27日(土)のまち歩きで、“私が歩いてみたい場所”を地図に書いてください。

当日は、地図を手がかりとして、わき道にそれたり、別なコースを歩いても、自由自在に歩いてください。

気づいたことはどんどんマップにメモしてください。

最後に八成区民集会所においでください。マップを写真に記録いたします。

※一番大切なのは、熱中症から体を守ることです。無理のないよう歩いてください。

6

次回スケジュール



第2回（仮称）下井草まちづくりラボ

日時：7月27日（土）8時30分～11時

内容：まちあるき

休憩場所・まちあるき結果報告場所

：八成区民集会所

暑さなどを考慮し、まちあるきのスタート時間は自由に設定いただいて構いません。万が一お怪我された時のため、27日のみ保険に加入しております。（お怪我をされた際は、区にご連絡ください。）

各チェックポイントは午前8時30分～11時、八成区民集会所は、

8時30分～11時30分まで、職員が常駐しています。

まちあるきの内容説明①

- ①小学生はグループで、大人の方々は、各自それぞれのペースでまちあるきを行ってください。
- ②小学生のグループは、9時に八成区民集会所に集合してから出発します。まちあるきは、大学生のお兄さん、お姉さんが同行します。
- ③当日9時に八成区民集会所で関先生からおすすめのまちあるきコースを紹介していただきます。お聞きになりたい方はぜひ一度お立ち寄りください。
- ④暑さなどを考慮し、まちあるきのスタート時間は自由に設定いただいて構いません。各チェックポイントは午前8時30分～11時、八成区民集会所は、8時30分～11時30分まで、職員が常駐しています。

まちあるきの内容説明②

- ⑤コースを歩きながら、気づいたこと（いいところとその理由、改善したいところとその理由、改善のアイデア）を3色ボールペンを使用し、地図にメモしてください。

3色ボールペンの使い方

青：好きなところ（まちの魅力）

赤：気になるところ（まちの問題点）

黒：こうなったらいいなと思うところ（提案）

まちあるきの内容説明③

- ⑥各チェックポイントで、スタンプを押すスタンプラリーを行います。チェックポイントは全部で6か所。すべてのスタンプが集まった方には、景品をお渡しします。（景品交換は、八成区民集会所）
- ⑦まちあるきが終了しましたら、八成区民集会所へお立ち寄りください。職員がまちあるきマップの写真を撮影しますので、終わった方から解散となります。
- ⑧当日、八成区民集会所の1階で、まちあるきをして気に入った場所などについてアンケートを行います。ぜひご参加をお願いします。
- ⑨雨天決行。ただし荒天の場合は中止とするため、中止の際は前日の17時までにご連絡いたします。

まちあるきの注意事項

- ①メモを取るときは、立ち止まって車や歩行者に気をつけてください。
- ②速さを競うゲームではありません。みなさんの意見をできるだけ多くお聞きしたいので、ゆっくりまちを観察してください。
- ③熱中症に気をつけ、こまめに水分補給をしてください。体調が悪くなった際は、マップ記載の緊急連絡先もしくはお近くの職員へお声がけください。
- ④当日は、朝方や前日などみなさまのお好きな時間帯にまちあるきを始めていただいても構いませんが、8時30分～11時30分の間に忘れずに八城区民集会所へまちあるきマップを報告するようお願いいたします。
(7月27日以外のまちあるきは保険適用外となります。)

まちあるき中の写真の投稿や情報共有

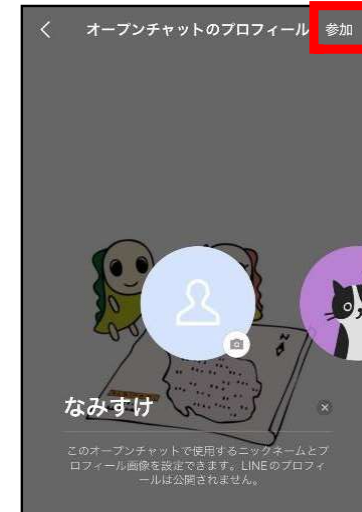
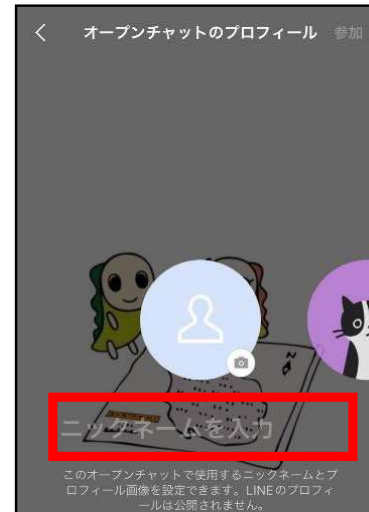
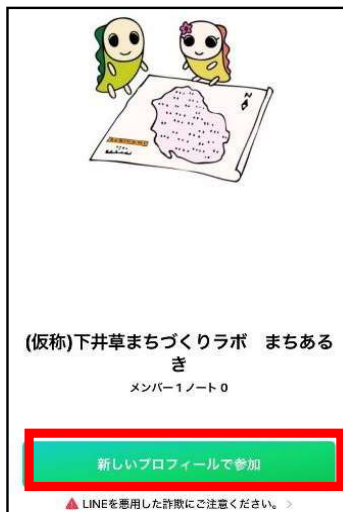
まちあるきの際、参加者の皆様が撮った写真や感想をリアルタイムで共有できるよう、LINEのオープンチャットを使用します。



※オープンチャットとは
オープンチャットは、匿名で複数人とメッセージを行うことができる機能のことです。参加によって他者にもだち追加される等の心配はございません。
まちあるきで使用するオープンチャットは事務局（杉並区）で作成したもので、事務局がすべての管理を行います。

まちあるき中の写真の投稿や情報共有 オープンチャットの使い方

オープンチャットの参加方法



①上記 二次元コードを読み取り、『(仮称)下井草まちづくりラボ まちあるき』に飛んでください。

②新しいプロフィールで参加」を押してください。

③グループワークの中で決めていただいたニックネームを入力してください。

④画面右上の「参加」を押してください。これで参加完了です。

オープンチャットの注意事項

注意事項

- ・トーク画面に広告が表示されますが、杉並区とは一切関係ございません。ご了承ください。
- ・他者を傷つけるようなメッセージ等を送らないでください。
- ・まちあるきに関係のないメッセージ等は送らないでください。
- ・メッセージ等の送信が可能な時間は27日(土)8:30～12:00のみとなります。該当時間外にメッセージ等は送らないでください。
- ・オープンチャットでの問い合わせはお答えできません。
- ・共有していただいた写真は事務局で厳選し、『(仮称)下井草まちづくりラボ』など区の下井草駅周辺まちづくり事業の中で利用します。著作権は撮影者にあります。勝手にダウンロードしての転用はご遠慮ください。
- ・個人を特定できるような写真(顔や表札などが写ったもの)などは送らないでください。
- ・事務局側の判断でメッセージの削除や強制退出させることがあります。ご了承ください。
- ・27日(土)12:00～になりましたら、事務局の方でトークルームを閉じさせていただきます。

6

閉 会



アドバイザーから のコメント

日本大学理工学部土木工学科

教授 関 文 夫 先生



土木設計家土木技術者
(技術士) 工学博士

<経歴>

- 1985年4月 大成建設株式会社入社：橋梁を中心に設計と現場を往来した後、環境に配慮した土木デザインを展開する
- 2011年3月 大成建設株式会社退職
- 2011年4月 日本大学理工学部土木工学科教授：現在に至る

<専門>

- ・土木デザイン 橋、トンネル、高速道路、河川、街路、公園、駅前広場、スポーツ施設などの設計
- ・構造システム 構造解析、構造システム、耐震設計、維持管理
- ・土木史 土木技術史、土木設計史。江戸土木史
- ・まちづくり まちづくり、活性化、限界集落 ppp、水力発電
- ・森づくり 生物多様性、カーボンFIX, 環境教育
- ・災害救助 救助訓練施設設計、訓練プログラム、災害教育

6

長時間

お疲れさまでした。

お配りしたアンケートのご協力をお願いします。
アンケートの記入が終わった方は、お帰りの際に
受付へ提出をお願いします。

後日提出される方は、二次元コードまたは FAX
にて提出をお願いします。(7月22日(月)まで)





これまでの取組み



平成23年

地域住民による「下井草駅周辺地区まちづくり協議会」の設立

平成26年

まちづくり協議会による「下井草駅周辺地区まちづくり構想」の提案

平成28年

区による「西武新宿線沿線各駅周辺地区まちづくり方針」の策定

令和4年3月・8月
令和5年6月・8月・10月
令和6年3月

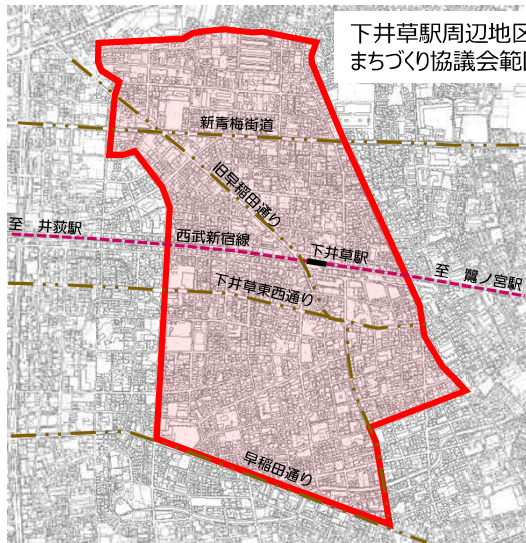
下井草駅周辺まちづくりに関するオープンハウス

令和4年12月
令和5年5月・6月
7月・9月
令和6年1月

下井草駅周辺まちづくりワークショップ

令和6年
7月

(仮称) 下井草まちづくりラボ



沿線地域の まちづくり目標

人と人をつなぐ、みどり豊かな
便利で快適なまち

上位計画による位置づけ

東京都市計画
都市計画区域の整備、開発及び保全の方針
(都市計画区域マスタープラン)

杉並区基本構想
○杉並区総合計画 ○杉並区実行計画

交通拠点である駅を中心に、地域の特性を生かした
商業の活性化や生活利便性の向上を図り、にぎわい
と多彩な魅力あるまちづくりを進める。

杉並区まちづくり基本方針
(杉並区都市計画マスタープラン)

地域別方針

井草地域

西荻地域

荻窪地域

阿佐谷地域

高円寺地域

高井戸地域

方南・和泉地域

西武新宿線沿線各駅周辺地区
まちづくり方針



まちづくり方針（概要）



地域住民や関係機関と連携・協働を行い、まちづくりの目標である「人と人をつなぐ、みどり豊かな便利で快適なまち」の実現を目指します。

分野別方針の基本的な考え方

交通体系分野 (道路・交通)

- 交通結節点機能の強化
- 交通ネットワークの形成

土地・建物利用分野 (商業・にぎわい)

- 駅周辺のにぎわい拠点形成
- 適正な土地利用の誘導

住環境分野 (住環境・みどり)

- みどりの保全・育成
- 防災・防犯まちづくり

下井草駅周辺地区のまちの将来像

にぎわいと良好な住環境が調和した、安心して住み続けられるまち

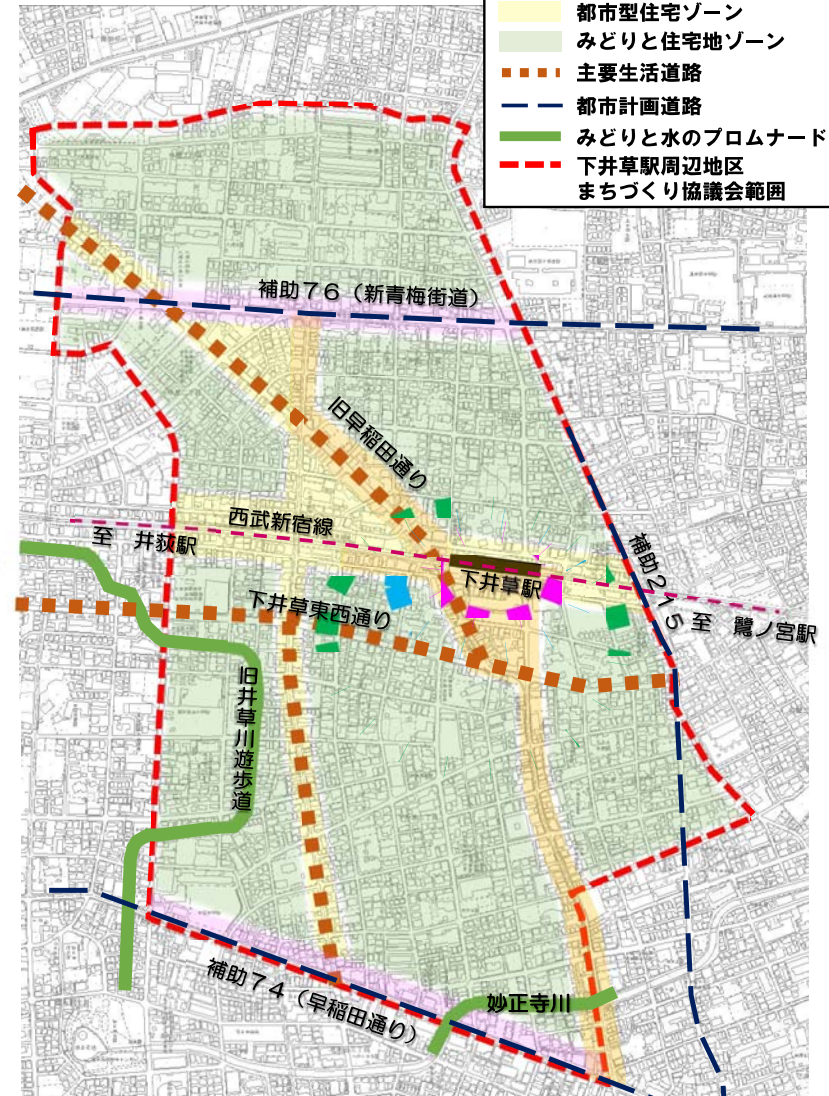
◆ 駅周辺に魅力的なにぎわいのあるまちづくり

- ▶ まちの顔となる駅周辺の環境整備、商店街の景観整備を通じて、にぎわいのある拠点形成を図る。
- ▶ イベントやマルシェなどの開催等商店街の魅力を高め、地域主導の商店街活性化の取組みを進める
- ▶ 駅周辺の商店街では、買い物客の一時的な自転車置き場や休憩スペースとして利用できるよう、建築物の配置を工夫する。

◆ このまちらしさを活かした、安心で魅力的なまちづくり

- ▶ 駅前にあるサクラ（シンボルツリー）の保全や遊歩道・公園、屋敷林・農地などのみどり豊かな環境を維持し、魅力的な景観形成を図る。
- ▶ 防災・防犯活動や地域の行事などを通して、人と人がつながる地域コミュニティづくりを進める。

< 凡例 >	
	駅周辺交通環境の向上
	駅前にぎわいゾーン
	みどりの保全地区
	補助幹線道路沿道ゾーン
	商業ゾーン
	都市型住宅ゾーン
	みどりと住宅地ゾーン
	主要生活道路
	都市計画道路
	みどりと水のプロムナード軸
	下井草駅周辺地区 まちづくり協議会範囲



■ 令和5年度下井草駅周辺地区まちづくりワークショップ及びオープンハウスの開催概要

道路・交通面の課題解決を中心に地域の方々と意見交換を行う場です。公募等で参加いただいた地域の方々との意見交換を通して、まちづくり方針で掲げた「道路・交通分野」の方針に基づき、「道路・交通施設整備計画」の策定を目指しました。

令和4年12月

※オープンハウスとは、ワークショップで行った内容について多くの方から意見を聴くために開催しているもので、パネルを展示し区職員が来場者に直接説明し意見を聴いています。

第1回まちづくりワークショップ

- テーマ：**下井草駅周辺まちづくりの経過と現状**
- 実施内容：参加者に自分達が住むまちの特徴を知っていただくため、まちの魅力や課題等についてグループごとに意見交換を行いました。

令和5年5月

第2回まちづくりワークショップ

- テーマ：**まち及び下井草駅周辺の将来イメージ**
- 実施内容：第1回まちづくりワークショップを踏まえ、道路・交通分野を中心とした駅周辺のイメージや求める機能について意見交換を行いました。

令和5年6月

第3回まちづくりワークショップ

- テーマ：**駅周辺の将来イメージを考える**
- 実施内容：駅周辺のイメージ案として、第2回まちづくりワークショップでいただいた意見を整理した駅周辺機能図4案について、グループごとに意見交換を行いました。

第3回まちづくりオープンハウス 令和5年6月

第1～3回ワークショップの内容について紹介するとともに、駅周辺機能図についてはワークショップで出た意見第5案も合わせて示し、来場者の方からご意見を伺いました。

令和5年7月

第4回まちづくりワークショップ

- テーマ：**将来の交通のありかた（案）の検討**
- 実施内容：区が考慮する事項や基本的な考え方を共有したのち、今までいただいた意見を整理し、選定した駅周辺機能図3案について意見交換を行いました。

第4回まちづくりオープンハウス 令和5年8月

第4回ワークショップの内容について紹介し、来場者の方からご意見を伺いました。

令和5年9月

第5回まちづくりワークショップ

- テーマ：**道路・交通施設整備計画（たたき台）の確認**
- 実施内容：ワークショップやオープンハウスでいただいた意見を踏まえて区で作成した道路・交通施設整備計画（たたき台）について、グループごとにご意見を伺いました。

第5回まちづくりオープンハウス 令和5年10月

第5回ワークショップの内容について紹介し、来場者の方からご意見を伺いました。

令和6年1月

第6回まちづくりワークショップ

- テーマ：**道路・交通施設整備計画（たたき台No.2）の確認**
- 実施内容：第5回まちづくりワークショップでいただいた意見をもとに、道路・交通施設整備計画図（たたき台）を修正した道路・交通施設整備計画図（たたき台No.2）について、参加者と意見交換を行いました。

第6回まちづくりオープンハウス 令和6年3月

第6回ワークショップの内容について紹介し、来場者の方からご意見を伺いました。

二次元コード



各回の資料はこちらから
ご覧いただけます。

これまでのオープンハウス・ワークショップの振り返り（いただいた主な意見）

第1回まちづくりワークショップ・第3回まちづくりオープンハウス

自分たちが住むまちの魅力や課題について、ご意見を伺いました。

◆まちの魅力

- 多方面へバスルートが通じているため、毎日の買い物に便利である。
- こじんまりした地元感がある。
- 個人のお宅のお庭のみどりが豊かで、散歩していて楽しい。
- みどりが多く、静かで子育てにとても良い。
- 井草川には遊歩道があり、桜がきれい。
- 低層の住宅街のゆったりした街並みが良い。
- 住宅地として住みやすいので、開発等や大きな建物ができなくても良い。
- 新しく住み始めた人も増えているように感じる。
- 人情味あふれる人が多い。
- 「舌べろ餅」や「どんと焼」など都市部では少なくなったイベントやお祭りがある。

◆まちの課題

- 旧早稲田通りの歩道が狭く歩きづらい上に危険で、バス停の部分も狭く降りづらい。
- 旧早稲田通りは、バス停でバスが止まると渋滞になる。
- 早稲田通りは、幅員が狭いうえに電柱が歩道上にあるため、車椅子も通れない。
- 駅前の交通環境が悪い。バスや買い物客などで混雑する。
- タクシープールが駅にないため、タクシーを拾うことができない。
- 連続立体交差事業で開かずの踏切や南北分断を解消して欲しい。
- 若者向けのカフェやレストラン、ファッションの店が欲しい。
- 買い物に行きたいが、休める場所がまちなかにないため、高齢者は外出機会が減ってしまっている。
- 駅周辺に広場ができると盆踊りとか祭りなどが復活できるのでは。
- 散歩道をもっと増やして欲しい。
- 人が集まれる、ちょっと休める場所が欲しい。

第2回まちづくりワークショップ・第3回まちづくりオープンハウス

道路・交通分野を中心とした駅周辺のイメージや求める機能についてご意見を伺いました。

【道路・交通】

- 旧早稲田通りの安全性の確保（一方通行・歩道拡幅整備・電柱の地中化）
- 交通拠点であるが駅前の混雑が非常に多い
- タクシープールの確保（タクシー乗り場がなく不便）
- 安心安全な道路空間の確保（歩行者優先として交通規制を設ける等）

【商業・にぎわい】

- にぎわいの拡充（若者が集まる場所や地域イベント、太鼓祭りなど）
- 狹窄ほどのにぎわいは望まないが、住んでいる人の利便が図れるにぎわいの創出は必要

【住環境・みどり】

- 地域交流スペースの確保（まちなかでつるぎるベンチや空間、多世代交流拠点等）
- 防災機能の強化（核シェルターや備蓄倉庫等）

【交通機能】

- 北側：車両機能の集約（バス停留所、タクシープールや朝夕の送迎車乗降等）
- 南側：交流スペース（歩行者系広場・バリアフリー化）

第3回まちづくりワークショップ・まちづくりオープンハウス

第3回まちづくりワークショップでは、これまでいただいた意見を整理した駅周辺機能図案①～案④を提示し、参加者と意見交換を行いました。その後、第3回まちづくりワークショップでいただいたご意見をもとに新たに案⑤を追加し、5つの案について第3回まちづくりオープンハウスでご意見を伺いました。



- 歩行者空間が確保できる。
- 駅の顔となる広場の整備ができそう。
- 駅北側の活性化につながる。
- 歩行者と車両を分けた案はなかなかよい。
- 人との交差が生じる（通学路があるため）
- 視点的分断が生じる可能性がある。
- 交通系広場ができれば、内部に車両が入ることがないので良い。
- 駅北側の活性化につながる。
- 地域の協力のもとまとまった敷地が必要。
- 視認性の部分で分断が生じる可能性がある。
- 北側の静かな住環境が乱される。
- 駅前にバスが通ることにより環境が悪化する恐れがある。
- 歩いて楽しむという視点的欠如。
- 駅から広場までの距離が遠い。
- 北側の衰退が加速する。
- 人と広場が一体的で視認性もあり現実的。
- 駅の顔となる広場の整備ができそう。
- 人と広場の動線が近接することによる危険性が増える。
- 北側のにぎわいが置き去りにされる。
- 誘致した商店街がこの街になじむか疑問。
- 旧早稲田通りを何とかしなければという観点から、迂回路、交通規制、無電中化等を積極的に進めてもらいたい。

第4回まちづくりワークショップ・まちづくりオープンハウス

これまでいただいた意見等をもとに区から将来交通のあり方を示し、ご意見を伺いました。なお、駅機能図については、いただいたご意見と「区が考慮すべき事項」をもとに5案から3案に絞ってご意見を伺いました。

オープンハウス及びワークショップでいただいた意見

考慮すべき事項

- ◇道路管理者との協議・承諾
- ◇道路法や道路構造令の遵守
- ◇予算
- ◇交通管理者との協議・承諾
- ◇都市計画法に基づく位置づけ

◇将来交通のあり方（案）

○基本的な考え方

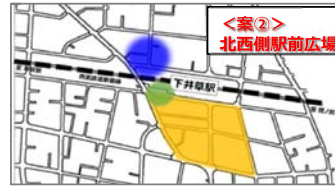
- ◇交通機能の集約化
- ◇安全な歩行空間の確保
- ◇人が集い留まれる空間の創出
- ◇人中心の魅力ある賑わいの空間
- ◇買収面積の最小化

- 人優先の安全・安心な街の形成
- みどりの創出も大事
- こじんまりとした閑静な住宅地
- 歩行者空間の確保を住民の声で実現させたい
- 駅南西を中心ににぎわいの形成

○駅周辺機能図（案）



- 西荻のようなこじんまりとしたバスロータリーが作れば良いと思う。
- 皆の賛同がとりやすいと思いました。
- 安心して歩ける商店街づくりに必須だと思います。北口の活性化につながる可能性も。



- 北側のスーパーは残してほしい
- 案1より北側の環境が変わる。車による送迎が増え、その渋滞影響が心配。
- 駅に向かう歩行者が遠回りにならない配慮が必要と思う



- 南側に大きな広場を作るとなると街の構成が今とがらっと変わってしまう心配がある
- 既存の商店街への影響が大きい。

第5回まちづくりワークショップ・まちづくりオープンハウス

第4回まちづくりワークショップ・まちづくりオープンハウスでのご意見をふまえ、今後策定していく道路・交通施設整備計画の内容（整備目標・整備計画）について議論するためのたたき台を示し、ご意見を伺いました。

◇道路・交通施設整備計画（たたき台）

○整備目標

整備目標（3つの柱）

1. コンパクトな交通結節点機能の強化

- ・駅前の交通環境を改善し、鉄道・バス・タクシー相互の乗換利便性の向上を図る。

2. 歩行者の安全性確保

- ・車中心から人中心の空間へと転換し、安心して通行できる道路空間を形成する。

3. みどり豊かににぎわい空間の創出（集い溜まれる・みどり豊かな場所）

- ・人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる空間を創出する。
- ・にぎわいを演出するみどりの空間を形成する。

<全体について>

- 目標としては、分かりやすく、よくまとまっている。
- 目標として否定するつもりはないが一般的な内容で「下井草らしさ」が出ていない。

<コンパクトな交通結節点機能の強化について>

- 駅前の交通環境が改善されることで、渋滞が解消されることを期待している。
- タクシーアプリが普及し、駅前にタクシープールは、それほどいらない。
- 鉄道・バス・タクシーを利用できるように高齢者、障害者などを送迎する寄り付きもできると良い。
- パリアフリー、ユニバーサルデザインの視点が重要。

<歩行者の安全性確保について>

- 「車中心から人中心の空間」の部分は、人によって捉え方が違うと思うため、もう少し具体的に書いた方が良い。
- 歩行者の安全は地域の課題であったので、安全性という文言が入ったことはよかった。

<みどり豊かににぎわい空間の創出について>

- 「善福寺緑地の整備のように、区が大きな敷地を買って公園や緑地などにする施策を進めて欲しい。
- 農福連携事業などにより下井草らしい地域の店が入って欲しい。
- 多世代が暮らす街をイメージできるよう、「人々」でなく「広い世代の人々」してはどうか。
- 「南北の往来がしやすくなる」ことを入れる。
- 今後は、電動キックボードや電動自転車等、新しいモビリティにも対応が必要になっていくと思うので、そのことも加えてほしい。

<その他>

- 「南北の往来がしやすくなる」ことを入れる。
- 今後は、電動キックボードや電動自転車等、新しいモビリティにも対応が必要になっていくと思うので、そのことも加えてほしい。

○整備計画図



<北側の交通結節点機能について>

- 北側の交通結節点機能が道路沿いだけになっており、機能としては少し狭いのではないかと。
- 広場からバスが早稲田通りへの出入り口で南へ回るときに交差が危険であり、そこに歩行者系広場があり問題である。

<用地買収について>

- 現道があるので土地の買収を最小化できると思うが、それでも買収対象がなくなるわけではないと思うので、住民、商店への配慮が必要だと思う。
- 住民の土地を買収するのではなく、西武の土地を買収することはできないのだろうか。

<歩行者が安全安心に回遊できる道路空間について>

- 南側商店街は、バスを除けば、商品搬入、子どもの送り迎え、病院への送り迎えの車ぐらいしかないので計画は実現できそうに思う。
- 北側の旧早稲田通り沿いにもお店があるので、そちらにも「歩行者が安全安心に回遊できる道路空間」エリアを広げてほしい。

<旧早稲田通りの安全性の向上について>

- 旧早稲田通りが生活している住民からすると駅周辺で最も危ない。この改善することが最優先課題。
- 旧早稲田通りは、生活道路であり地域の記憶を継承する地域資源でもある。幅幅ではない解決策を探るべき。
- 整備計画図の駅南側の旧早稲田通り沿道がオレンジになっているが、この部分は何か安全性向上の整備をするのか。
- すぐにできないことはわかるが、それも入れて駅前広場を計画すべきだと思う。
- 高架か地下の検討状況はどうなっていて、いつ決まるのか。

<その他>

- 影響範囲を小さくするにはバスを小さくする。

第6回まちづくりワークショップ

第5回まちづくりワークショップ及びオープンハウスでいただいたご意見をもとに道路・交通施設整備計画（たたき台）を修正し、道路・交通施設整備計画（たたき台No2）整備目標及び整備計画図を示し、参加者からご意見を伺いました。

整備目標（たたき台No2）

1. コンパクトな交通結節点機能の強化

- 駅前の交通環境を改善し、鉄道・バス・タクシー相互の乗換利便性の向上を図る。
- 新しいモビリティの導入を図る。

2. 歩行者の安全性確保

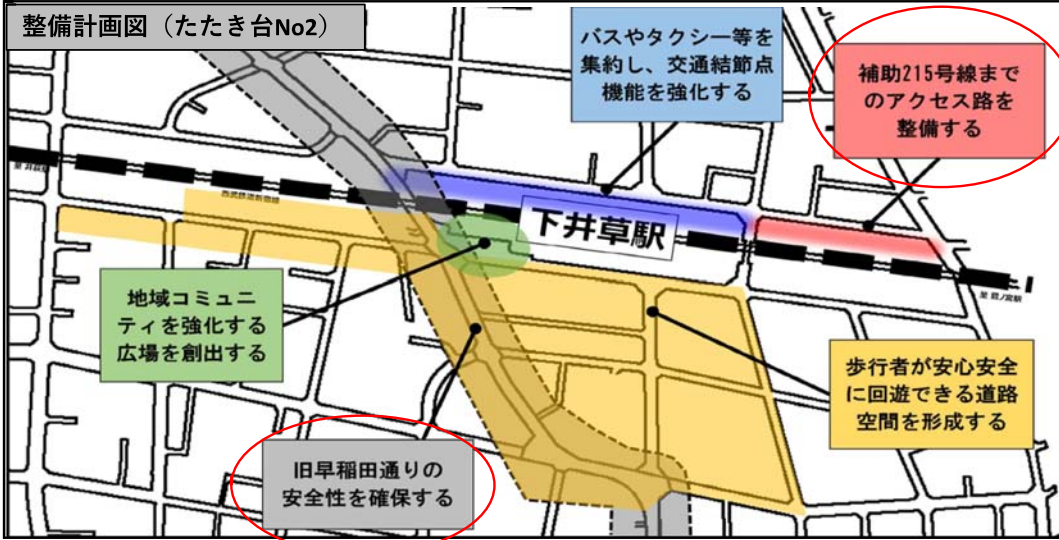
- 車中心から人中心の空間へと転換し、安心して通行できる道路空間を形成する。
- 誰もが安心して快適に利用できるように、歩行者空間のユニバーサルデザインを導入する。

3. みどり豊かなにぎわい空間の創出（集い溜まれる・みどり豊かな場所）

- 様々な人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる空間を創出する。
- にぎわいを演出するみどりの空間を形成する。

・整備目標（たたき台No2）は、第5回まちづくりワークショップで示したたたき台から、左図の赤字下線の部分を変更しました。

整備計画図（たたき台No2）



・整備計画図（たたき台No2）は、第5回まちづくりワークショップで示したたたき台から、左図の赤い丸で囲った部分を変更しました。

○この会は、修正した整備目標・整備計画図について、いただいた意見・質問に直接回答いたしました。主な内容については、以下のとおりです。

- Q：アクセス路を伸ばしたのはなぜか。その先の都市計画道路が拡幅される予定がないのではないかと。
- A：補助215号線は「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」における「優先整備路線」になっていませんが、将来の交通ネットワークを見据えて計画に盛り込みました。
- Q：旧早稲田通りの拡張なしで渋滞解消はできないのではないかと。
- A：連続立体交差事業で踏切が解消されることで渋滞は大きく解消されます。さらに、バス停を旧早稲田通り以外に確保することも有効と考えます。
- Q：交通計画の動線がわからないので意見が言えない。
- A：バスやタクシーなどの車両は北側になります。旧早稲田通りから入り、事例※で示したターンテーブルやラウンドアバウトで転回して、再び旧早稲田通りに戻ることを想定しています。今回の計画は、イメージですので、今後検討してまいります。

- Q：整備計画図を実現するまでのスパンはどれくらい？
- A：時期は未定です。他の事例によると、20年以上かかると推定されます。
- Q：バスルートとしては旧早稲田通りを一方通行にした方がよい。
- A：一方通行にするには、現在旧早稲田通りを通行している車両（バス等）を代替ルートに転換しなければなりません。代替ルートを選定するにあたっては、バス路線となるので、現状のままの道路構造では通行できないことから、道路構造の整備やバスが通行することによる住民の合意形成、歩行者専用道路などの交通規制を管轄している警視庁との協議が必要となります。以上のことから旧早稲田通りを一方通行化するハードルは高いと思われます。
- Q：青いエリアの人に買収で立ち退きをしてもらうのは心が痛む。本当に買収できるのか？
- A：駅周辺の課題を解決するためには、西武鉄道も含む地権者の方々のご理解ご協力は欠かせません。今後、整備に必要な範囲が明確になった際に、地権者の方々のご理解ご協力が得られるよう丁寧に進めてまいります。

※駅北側でバス等の車両を転回するための事例



【事例1】
聖蹟桜ヶ丘
ラウンドアバウト



【事例2】
南善福寺
バスターンテーブル

各回のいただいた意見はこちらからご覧いただけます。



二次元コード

下井草駅周辺まちづくり

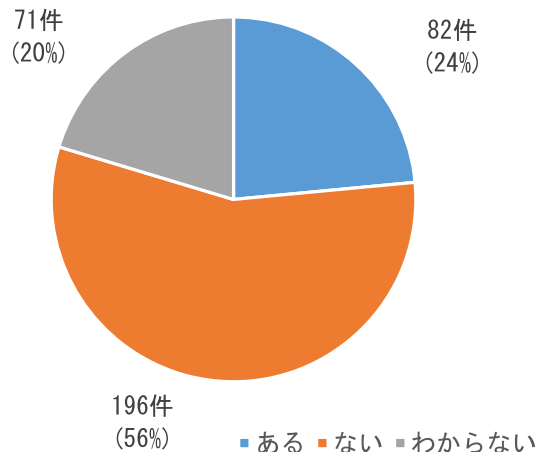
検索

アンケート結果（小・中学生）

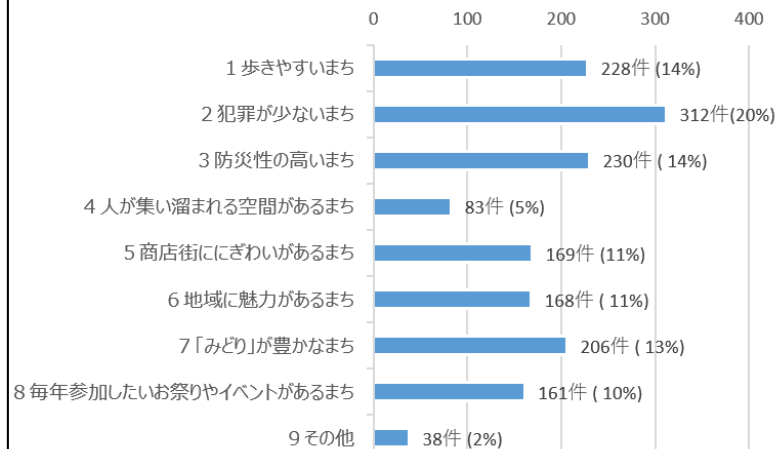
アンケート調査の概要（令和6年2月実施）

対象者：小学生・中学生 回答総数：349件

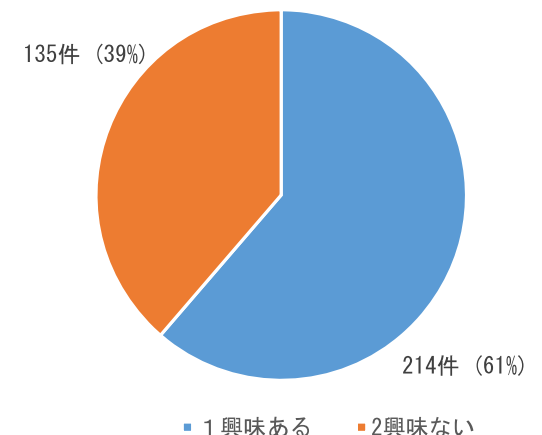
Q4 通学路で危険だと感じる場所はありますか



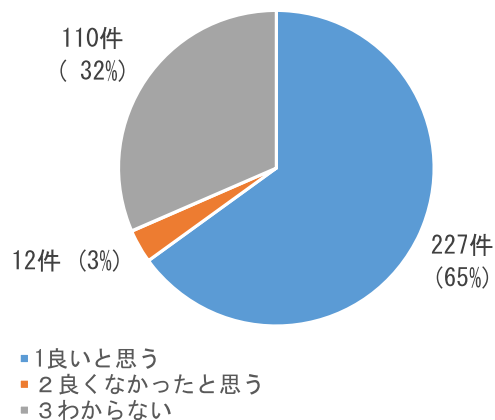
Q13 どのようなまちに住みたいですか



Q15 まちづくりに興味ありますか



Q21 「下井草駅周辺道路・交通施設整備計画（たたき台）」にある「整備目標【3つの柱】」の内容についてあなたが感じたことを教えてください



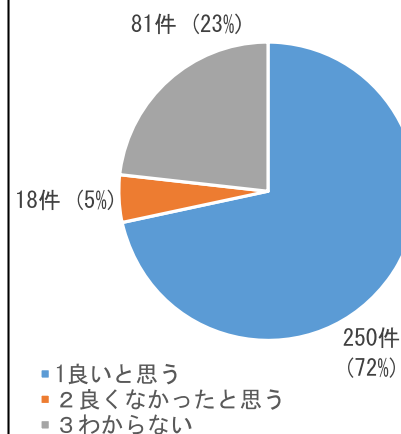
良いと思う主な意見

- 交通結節点の整備は住みやすい街づくりの模範である。
- 近年、緑が減ってきているのと、横断歩道や信号が設けられていなくて危ないと思った。
- 歩行者の安全確保はありがたい。
- 街に活気が出ていいと思う。

良くないと思う主な意見

- 特に困っていることがなく、バスで荻窪駅や阿佐ヶ谷駅に行けるから無理に変える必要はないと思う。

Q23 「下井草駅周辺道路・交通施設整備計画（たたき台）」にある「整備計画図」の内容について、あなたが感じたことを教えてください



良いと思う主な意見

- 車で送迎をしてもらうときに、車を一時停止する場所がなくて困っていたから。
- 渋滞などの問題がなくなると同時に、歩行者も運転者も気持ちよく町で過ごすことができると思うから。
- 交流が増えたり、より交通に便利な場所になったら利用したいと思うから。

良くないと思う主な意見

- 南側のバス停の位置は変えなくて良いと思う。

第6回 下井草駅周辺地区まちづくりオープンハウス【概要】

道路交通分野のまちの課題解決に向けた
「下井草駅周辺道路・交通施設整備計画（たたき台 NO.2）」について
地域の皆様のご意見を伺いました。

開催日時：令和6年3月9日（土）14時～17時
会場：下井草駅南口駅前広場
参加人数：74名

「下井草駅周辺道路・交通施設整備計画（たたき台 NO.2）」

《整備目標【3つの柱】たたき台 NO.2》

《整備計画図 たたき台 NO.2》

1. コンパクトな交通結節点機能の強化

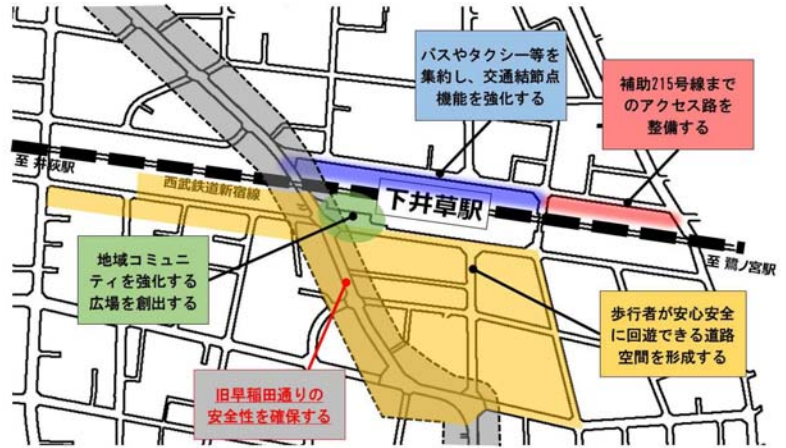
- ・駅前の交通環境を改善し、鉄道・バス・タクシー相互の乗換利便性の向上を図る。
- ・新しいモビリティの導入を図る。

2. 歩行者の安全性確保

- ・車中心から人中心の空間へと転換し、安心して通行できる道路空間を形成する。
- ・誰もが安心して快適に利用できるよう、歩行者空間のユニバーサルデザインを導入する。

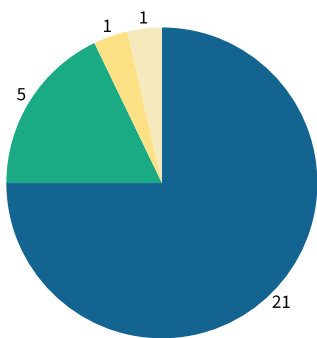
3. みどり豊かなにぎわい空間の創出（集い溜まれる・みどり豊かな場所）

- ・様々な人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる空間を創出する。
- ・にぎわいを演出するみどりの空間を形成する。



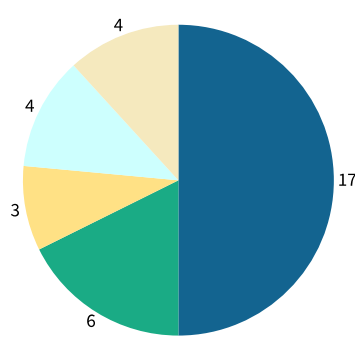
シールアンケート結果

整備目標について



■ 良いと思う ■ やや良いと思う
■ どちらでもない ■ 良いと思わない

整備計画図について



■ 良いと思う ■ やや良いと思う
■ どちらでもない ■ あまり良いと思わない
■ 良いと思わない

主なご意見

- ・旧早稲田通りの安全性が第一。そのあとでないと考えられない。
- ・鉄道の構造形式が高架・地下どちらの場合も想定してたたき台を作成してほしい。
- ・もっとまちあるきをして現状を把握した上で計画策定してほしい。
- ・下井草駅に賑わいがほしいので、バスターミナルができると良い。
- ・北側がもっと明るくにぎやかになってほしい。北口と南口の差が埋まれば良い。
- ・今後は模型等でも計画を示してくれるとイメージしやすい。
- ・まちづくりはまず環境整備から。特にゴミの出し方、街の環境美化のために、ゴミ拾いや花壇の花の植替えなど、地域のみんなでやりたい。

問い合わせ

杉並区 都市整備部 市街地整備課 鉄道立体係
〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1
電話 03-3312-2111（内線3379）
FAX 03-3313-2907

東京では、都市計画道路がいまだ6割程度しか完成していないなど、道路ネットワークの形成が不十分な状況にあるため、依然として慢性的な交通渋滞などが生じており、都民生活や経済活動に多大な影響を与えています。

さらに、都内には、約1,040箇所におよぶ踏切があり、道路交通円滑化の大きな妨げになっています。このため、特に朝夕のピーク時に、ほとんど遮断された状態の踏切が存在し、自動車の渋滞を招くとともに、事故の危険性をはらんでいます。

これらの問題を解決するため、東京都は道路ネットワークの整備と連続立体交差事業を進めています。

連続立体交差事業は、市街地において道路と交差している鉄道を一定区間連続して高架化又は地下化することで立体化を行い、多数の踏切の除却や新設交差道路との立体交差を一挙に実現する都市計画事業です。この事業は、「都市における道路と鉄道との連続立体交差化に関する要綱」（以下「要綱」という）及び「同細目要綱」（H19.8 国土交通省）に基づいて、東京都が事業主体^{*}となって施行しており、次のような事業効果があります。

事業効果

- (1) 数多くの踏切が同時に除却されるため、踏切遮断による交通渋滞及び踏切事故が解消できます。
- (2) 鉄道により分断されていた市街地の一体化を図ることができ、本事業に併せて市街地再開発事業や土地区画整理事業を実施することで、総合的なまちづくりによる都市の再生、活性化に強いインパクトを与えます。
- (3) 新たに生み出される高架下等の空間を周辺の土地利用計画に合わせて、自転車駐輪場や公園等の多目的な形で利用できます。
- (4) 鉄道輸送の安全性の向上、踏切経費の節減、輸送力の増強等に寄与します。

このように、連続立体交差事業は単に交通問題の解消を図るだけでなく、一体的で総合的なまちづくりの推進にも寄与する事業であり、東京の都市再生を進める観点から積極的に取り組んでいます。

本事業の実施にあたっては、東京都、地元区市、鉄道事業者が相互に連携し、地元のまちづくりに貢献する側道整備等は地元区市が、鉄道工事は、営業線運行の安全確保の観点から鉄道事業者がそれぞれ施行し、東京都は事業主体として、円滑な事業の推進が図られるよう事業の総括等を行っております。

^{*}平成17年度からは、都道府県又は政令指定都市に加え、特別区及び、人口20万人以上の都市も事業主体となって施行することが可能となりました。

事業の定義

連続立体交差事業は、「要綱」において次のいずれかに該当する鉄道区間について鉄道と道路を3ヶ所以上において立体交差させるものと定義されています。

- 両端で350m以上離れた幹線道路^{※1}2本を含み、踏切を2ヶ所以上除却
- 幹線道路のボトルネック踏切^{※2}を除却
- 生活道路^{※3}の歩行者ボトルネック踏切^{※4}を除却

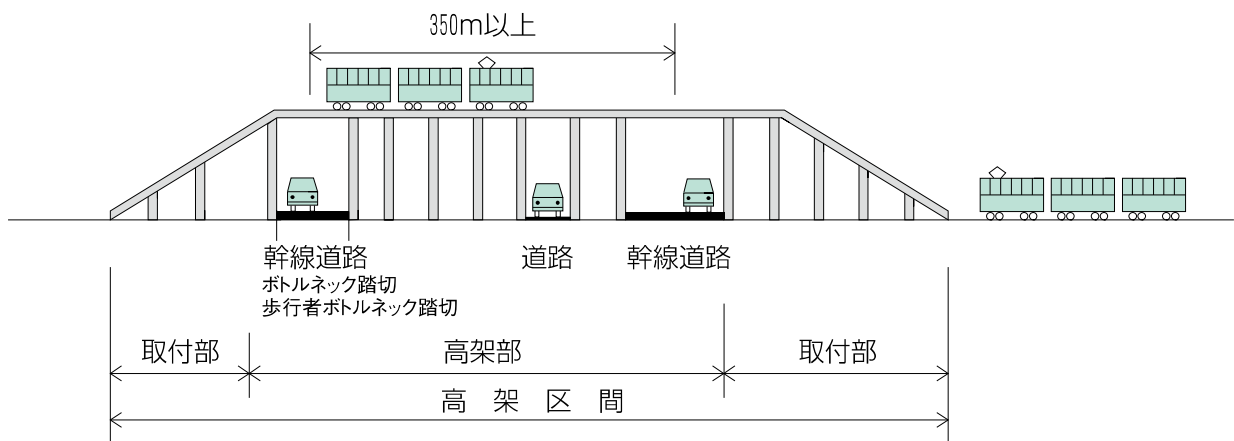
※1 幹線道路：道路法による一般国道及び都道府県道、都市計画法により都市計画決定された道路

※2 ボトルネック踏切：ピーク時1時間あたり遮断時間40分以上の踏切、又は自動車の踏切交通遮断量^{※5}が50,000台時/日以上

※3 生活道路：※1以外の道路(都市計画決定されていない区市町村道)

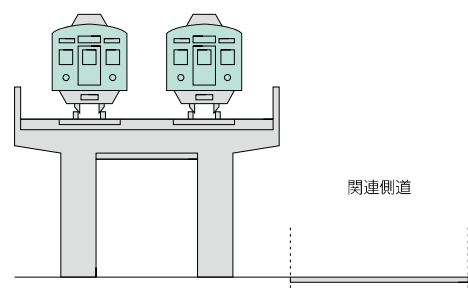
※4 歩行者ボトルネック踏切：自動車、軽車両及び歩行者の踏切交通遮断量が50,000台(人)時/日以上かつ、軽車両及び歩行者の踏切交通遮断量が20,000台(人)時/日以上

※5 踏切交通遮断量：日交通量(自動車、軽車両・歩行者等)×踏切遮断時間



関連側道

鉄道の高架化に関連して、都市環境の保全に資する目的で、高架構造物に沿って住居の用に供している土地が連たんしている区間に設置される道路です。連続立体交差事業と併せて整備することにより、周辺のみちづくりにも寄与します。

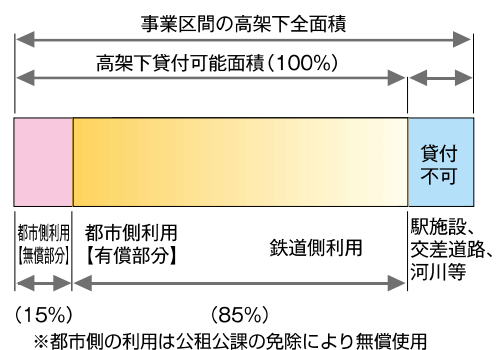


高架下利用

高架下利用については、「要綱」により次のように規定されています。

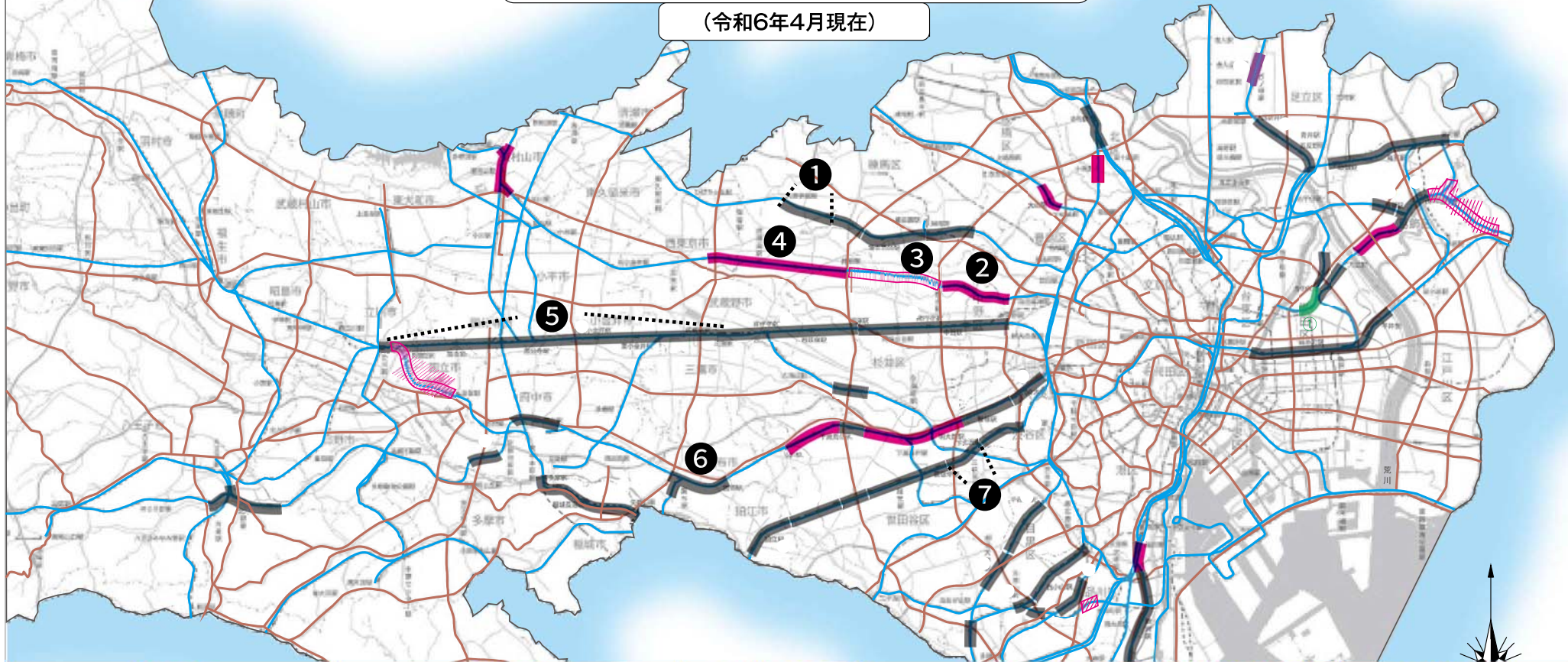
都市側(地方自治体)は鉄道事業者の業務に支障ない限り高架下に公共の用に供する施設を設置することができます。

この場合、原則として高架下貸付可能面積(ただし道路、河川、駅施設を除く既設線相当分)の15%相当部分は公租公課相当額(鉄道事業者に課せられる固定資産税及び都市計画法相当分)で利用でき、15%相当分をこえる部分は鉄道事業者の定める貸付規則による使用料にて使うことができます。



東京都内の連続立体交差事業

(令和6年4月現在)



路線名	箇所	事業延長	施工年度	踏切除却数	構造形式
①西武池袋線	練馬高野台～大泉学園	2.4km	H19年～H28年	9	高架
②西武新宿線	中井～野方	2.4km	H25年～R8年(予定)	7	地下
③西武新宿線	野方～井荻	3.1km	-	13	-
④西武新宿線	井荻～西武柳沢	5.1km	R5年～R21年(予定)	19	高架
⑤JR中央線	三鷹～立川	13.1km	H7年～H25年	18	高架
⑥京王電鉄京王線	調布駅付近	3.7km	H14年～H26年	18	地下
⑦小田急小田原線	代々木上原～梅ヶ丘	2.2km	H15年～H30年	9	地下

連続立体交差事業の効果

交通渋滞の解消

連続立体交差事業は、数多くの踏切を同時に除却することにより、道路ネットワークの形成を促進するとともに、交通渋滞を解消します。

【京成押上線(押上駅～八広駅間)明治通り】



高架化前

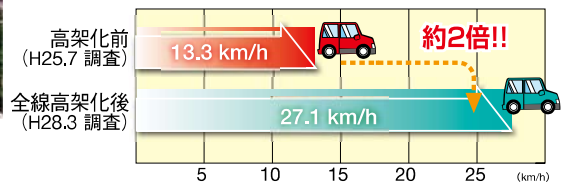


高架化後

明治通りの踏切遮断による最大渋滞長の変化



明治通り(小村井～白鬚橋東 約2.3km)における朝混雑時(7～9時台)の平均旅行速度



総合的なまちづくりによる都市の活性化

連続立体交差事業は、鉄道沿線のまちづくり事業と一体的に進めることにより、総合的な都市基盤整備に貢献します。

【JR中央線(三鷹駅～立川駅間)武蔵小金井駅周辺】

連続立体交差事業に併せて、再開発事業を一体的に進めた事例



事業前



事業後

高架下等空間の利用

連続立体交差事業で生じた高架下等の空間を活用することで、地域の利便性や安全性が向上します。



自転車駐輪場



保育所



図書館



公園



デイサービス



観光発信施設



中野区

生産緑地
(お稲荷様)

井草さくら公園

八成区民集会所
(休憩所、パネル展示)

下井草駅構内南北自由通路
(パネル展示)

井草東公園

いぐさの赤い椅子
西武信用金庫前

下井草駅
南口駅前広場

旧早稲田通り
三井住友銀行前
(歩行者空間、車いす体験など)

商店街

補助215号線

屋敷林

三峯神社

バス停

凡例	
	まちあるき範囲
	交通量少ない通り (一部ガードパイプあり)
	交通量多い通り
	チェックポイント

25m 50m 75m 100m

下井草駅周辺
まちあるきマップ



(仮称)下井草まちづくりラボ



第2回「まちあるき」

令和6年7月27日午前9時～11時

まちあるきの目的

下井草駅周辺のまちの将来像を考えていくにあたり、まちの魅力や課題などみなさんの意見を伺い、まとめること。



チェックポイント

下井草駅構内南北自由通路
(パネル展示)

メモ

旧早稲田通り (三井住友銀行前)
(歩行者空間、車いす体験)

メモ

井草さくら公園

メモ

生産緑地 (お稲荷様)

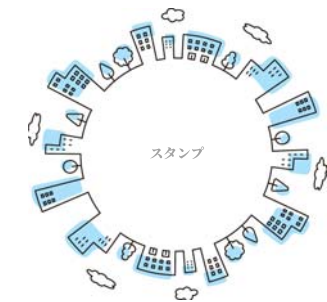
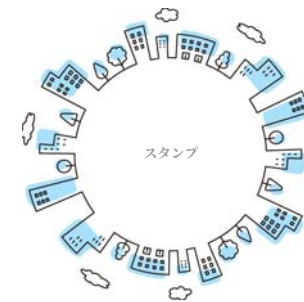
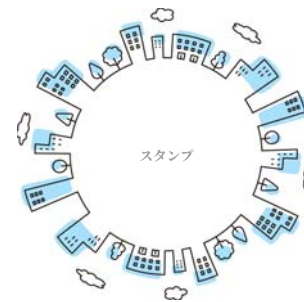
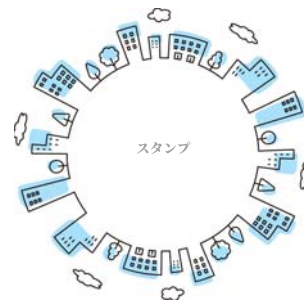
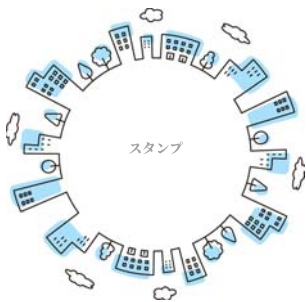
メモ

いぐさの赤い椅子
(西武信用金庫前)

メモ

八成区民集会所
(休憩所、パネル展示)

メモ



※メモを取るときは、立ち止まって車に気を付けてください。

速さを競うゲームではありません。

皆さんの意見をできるだけ多くお聞きしたいので、落ち着いてまちを観察してください。

暑い環境では無理をせず、適度な休憩と水分補給に気を付けて熱中症対策をお願いいたします。

八成集会所の和室を休憩用のスペースとして開放しています、ぜひご利用ください。

まちあるきの内容

- ①暑さなどを考慮し、まちあるきのスタート時間は自由に設定頂いて構いません。
各チェックポイント及び八成区民集会所は午前9時～11時に職員が常駐しております。
- ②小学生はグループで、大人の方々は、各自それぞれのペースでまち歩きを行ってください。
- ③コースを歩きながら、気づいたことを地図にメモしてください。
(いいところその理由、改善したいところその理由、改善のアイデアなど)
- ④各チェックポイントで、スタンプを押すスタンプラリーとなります。
チェックポイントは全部6か所。すべてのスタンプが集まった方には、景品をお渡しします。
- ⑤まちあるきが終わったら、八成区民集会所へ結果の報告をお願いします。

※緊急連絡先

杉並区市街地整備課鉄道立体係 電話 090-1563-2677 担当者 瀧澤・井家

オープンチャットで『まちあるき』を共有しよう！！



令和6年7月27日に下井草駅周辺で開催する『まちあるき』の際、参加者の皆様が撮った写真や感想をリアルタイムで共有できるよう、LINEのオープンチャットを使用します。

オープンチャットとは、匿名で複数人とメッセージを行うことができる機能のことです。参加によって他者にとりだち追加される等の心配はございません。本イベントで使用するオープンチャットはLINEの機能を利用し事務局(杉並区)で作成したもので、事務局がすべての管理等を行います。

参加を希望される方は以下の手順でご参加ください。また、共有していただいた写真は事務局で厳選し、『(仮称)下井草まちづくりラボ』など区の下井草駅周辺まちづくり事業の中で利用します。著作権は撮影者にあります。勝手にダウンロードしての転用はご遠慮ください。ご協力をお願いいたします。

オープンチャットの参加方法



- ① 上記の二次元コードから『(仮称)下井草まちづくりラボ まちあるき』にアクセスしてください。
- ② 「新しいプロフィールで参加」を押してください。
- ③ グループワークの中で決めていただいたニックネームを入力してください。
- ④ 画面右上の「参加」を押してください。これで参加完了です。

注意事項

- ・トーク画面に広告が表示されますが、杉並区とは一切関係ございません。ご了承ください。
- ・オープンチャットに参加後からメッセージ等の送受信が可能となりますが、当日までメッセージ等の送信はご遠慮ください。他の参加者への配慮をよろしくお願いいたします。
- ・他者を傷つけるようなメッセージ等を送らないでください。
- ・まちあるきに関係のないメッセージ等は送らないでください。
- ・個人を特定できるような写真（顔や表札などが写ったもの）などは送らないでください。
- ・オープンチャットでの問い合わせは受け付けておりません。
- ・事務局側の判断でメッセージの削除や強制退出させることがあります。ご了承ください。
- ・27日(土)12:00~になりましたら各自退出してください。一定時間が経過した後、こちらで強制退出の処理を行わせていただきます。

令和6年7月 杉並区 都市整備部 市街地整備課 鉄道立体系

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 電話 03-3312-2111(内線 3379/3386)

第1回 (仮称)下井草まちづくりラボ アンケート

本日はご多忙の中、ご参加いただきまして誠にありがとうございました。

今回の(仮称)下井草まちづくりラボに対するご意見や感想がございましたら、是非お聞かせください。今後、開催時の参考にさせていただきます。

■ 今回の(仮称)下井草まちづくりラボについて

よかった

どちらとも言えない

よくなかった

(選択理由: _____)

■ 下井草駅周辺まちづくりの「これまで」の取組みについて

理解できた

どちらとも言えない

理解できなかった

(選択理由: _____)

■ 下井草駅周辺まちづくりの「これから」の取組みについて

理解できた

どちらとも言えない

理解できなかった

(選択理由: _____)

■ グループワークについて

よかった

どちらとも言えない

よくなかった

(選択理由: _____)

■ その他 (自由記入欄)

[自由記入欄]

お名前 (任意) _____

ご協力ありがとうございました。

後日、右記の二次元コードまたはFAXでもご提出いただけます。

FAXで送信される方は、電話番号のご記入をお願いいたします。

回答〆切日: 令和6年7月22日 (当日中必着)

<お問合せ先> 杉並区都市整備部市街地整備課 担当 たきざわ 瀧澤、いか 井家、あさひな 朝比奈

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 杉並区役所西棟3階

電話 03-3312-2111 (内線3379) FAX 03-3312-2907

二次元コード

